
1.市民意識調査報告書

(1) 調査概要

調査の目的

本市では、「第4次日高市地域福祉計画」の策定に当たり、地域を取り巻く環境や地域福祉に対する意見などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的とした市民意識調査を実施しました。

調査の方法

- 調査対象：市内在住の18歳以上の方1,500名（無作為抽出）
- 調査期間：令和4年9月8日～9月26日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
住民対象	1,500票	671票	44.7%

この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

(2) 調査結果

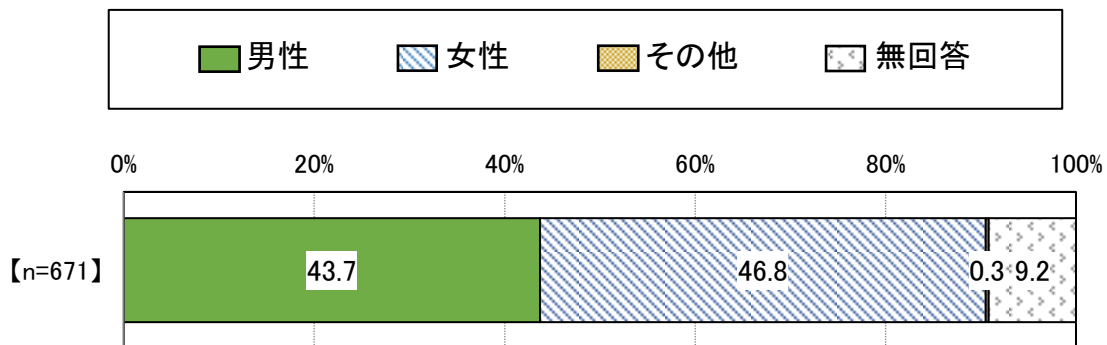
あなたとご家族について

問1 あなたとご家族についてお答えください。(それぞれ当てはまるものに○)

問1(1) 性別

性別は、「男性」が43.7%、「女性」が46.8%、「その他」が0.3%となっています。

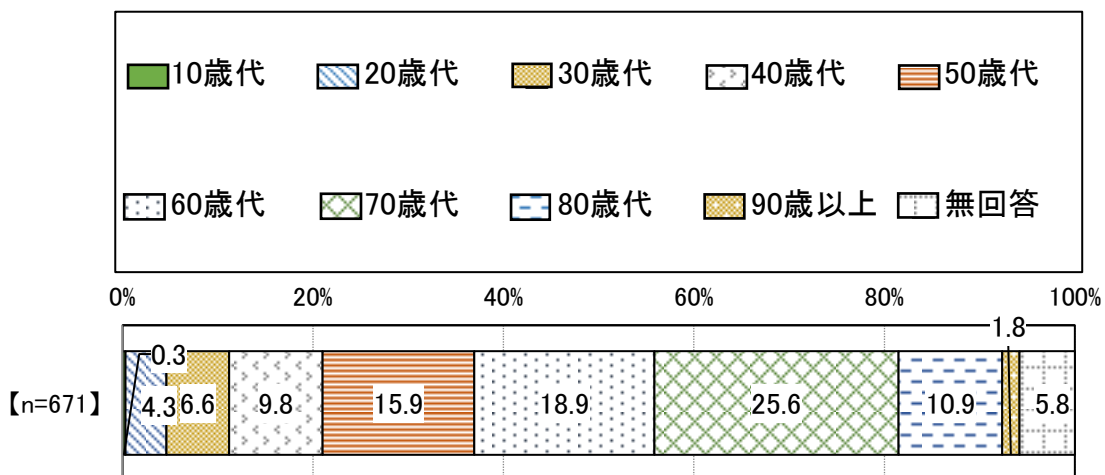
【性別】



問1(2) 年齢

年齢は、「70歳代」が25.6%で最も多く、以下、「60歳代」が18.9%、「50歳代」が15.9%、「80歳代」が10.9%、「40歳代」が9.8%、「30歳代」が6.6%、「20歳代」が4.3%、「90歳以上」が1.8%、「10歳代」が0.3%となっています。

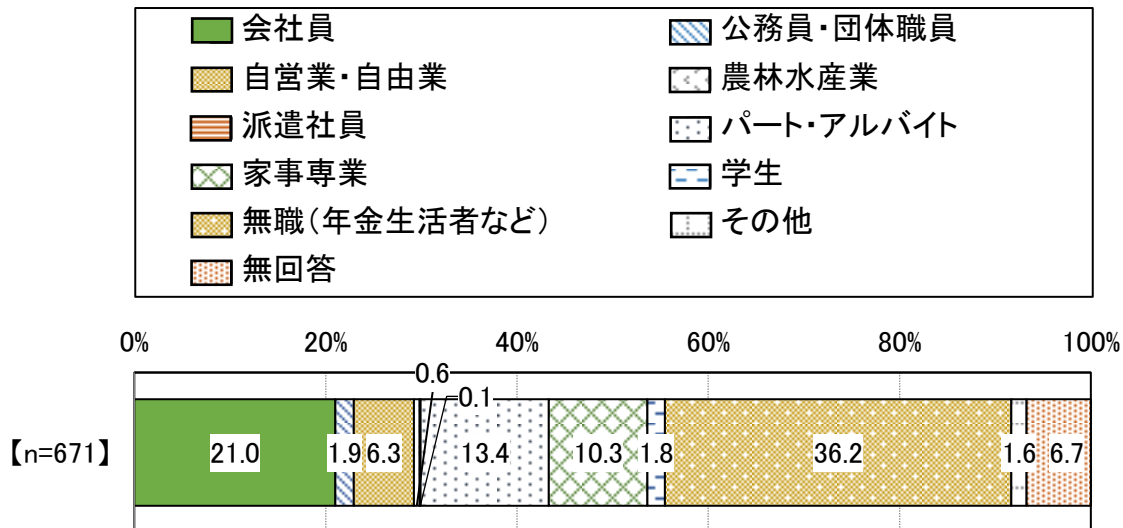
【年齢】



問1 (3) 職業

職業は、「無職（年金生活者など）」が36.2%で最も多く、以下、「会社員」が21.0%、「パート・アルバイト」が13.4%、「家事専業」が10.3%、「自営業・自由業」が6.3%、「公務員・団体職員」が1.9%、「学生」が1.8%、「農林水産業」が0.6%、「派遣社員」が0.1%となっています。

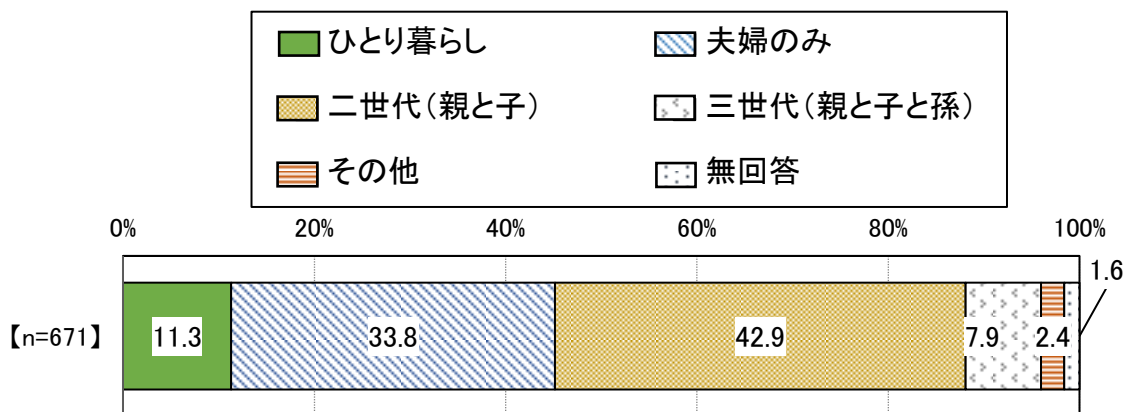
【職業】



問1 (4) 世帯の状況

世帯の状況は、「二世帯（親と子）」が42.9%で最も多く、以下、「夫婦のみ」が33.8%、「ひとり暮らし」が11.3%、「三世帯（親と子と孫）」が7.9%となっています。
 【その他】
 兄弟と暮らしている／別棟に子と孫 など

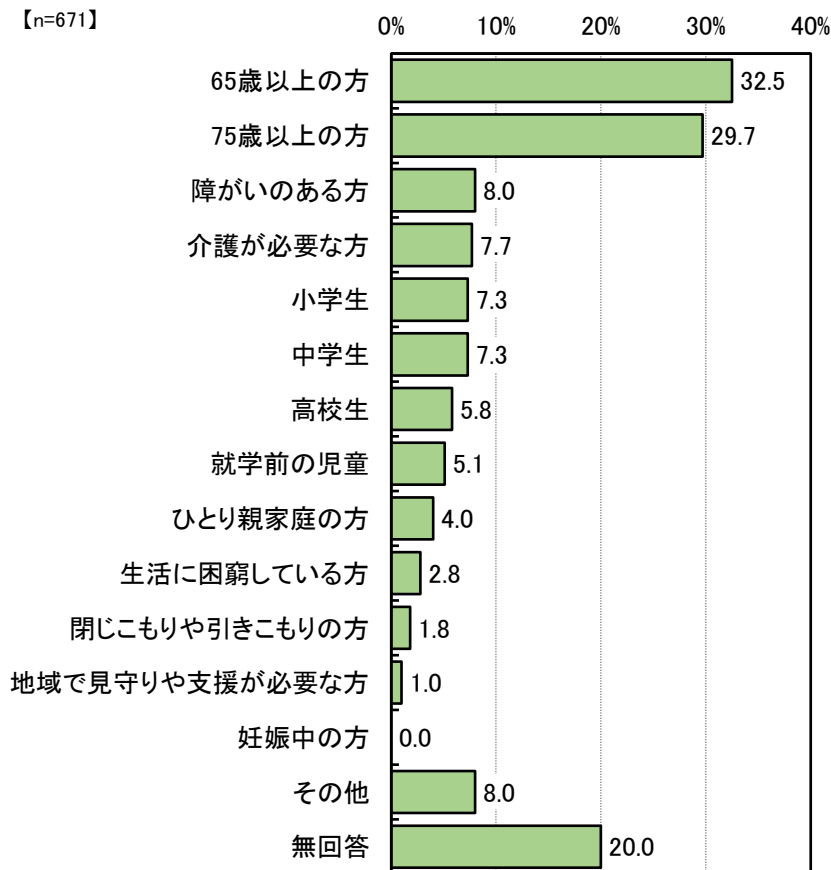
【世帯の状況】



問1 (5) 同居家族の状況 (ご自身も含み、当てはまるもの全てに○)

同居家族の状況は、「65歳以上の方」が32.5%で最も多く、以下、「75歳以上の方」が29.7%、「障がいのある方」が8.0%、「介護が必要な方」が7.7%「小学生」、「中学生」がともに7.3%、「高校生」5.8%、「就学前の児童」5.1%、「ひとり親家庭の方」4.0%、「生活に困窮している方」2.8%、「閉じこもりや引きこもりの方」1.8%、「地域で見守りや支援が必要な方」1.0%となっています。

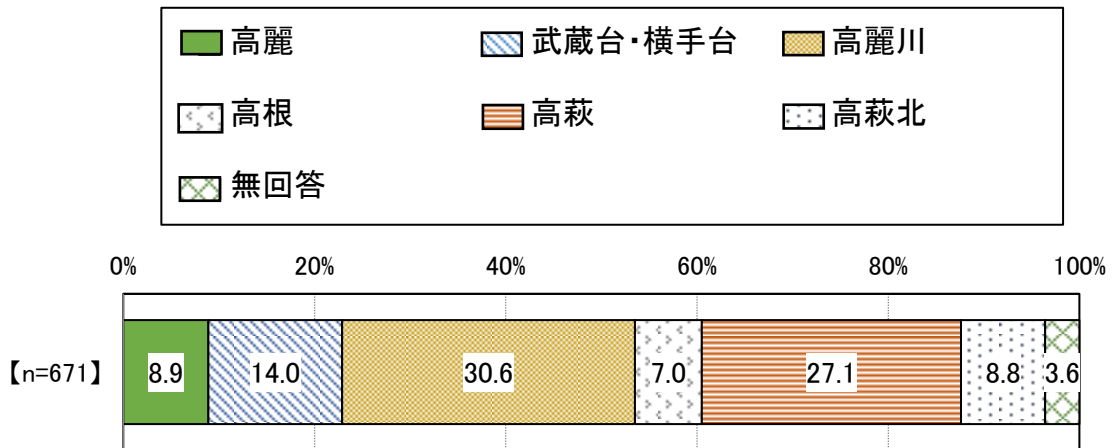
【同居家族の状況】



問1 (6) 居住地区

居住地区は、「高麗川」が30.6%で最も多く、以下、「高萩」が27.1%、「武蔵台・横手台」が14.0%、「高麗」が8.9%、「高麗北」が8.8%、「高根」が7.0%となっています。

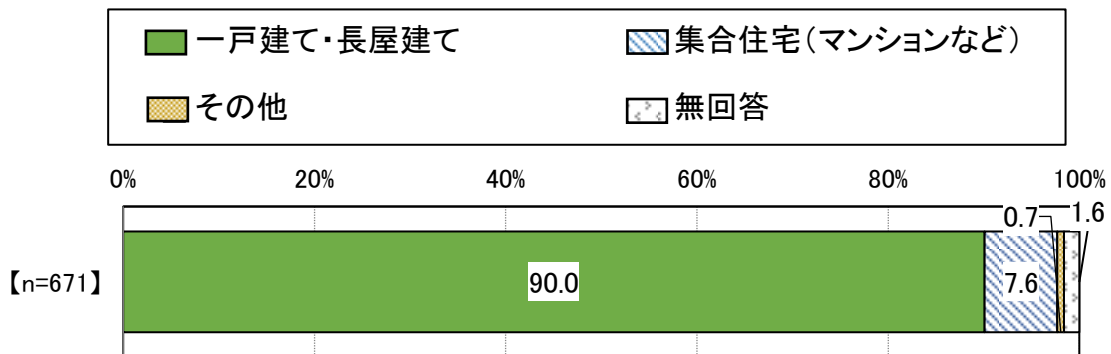
【居住地区】



問1 (7) 住居形態

住居形態は、「一戸建て・長屋建て」が90.0%、「集合住宅（マンションなど）」が7.6%となっています。

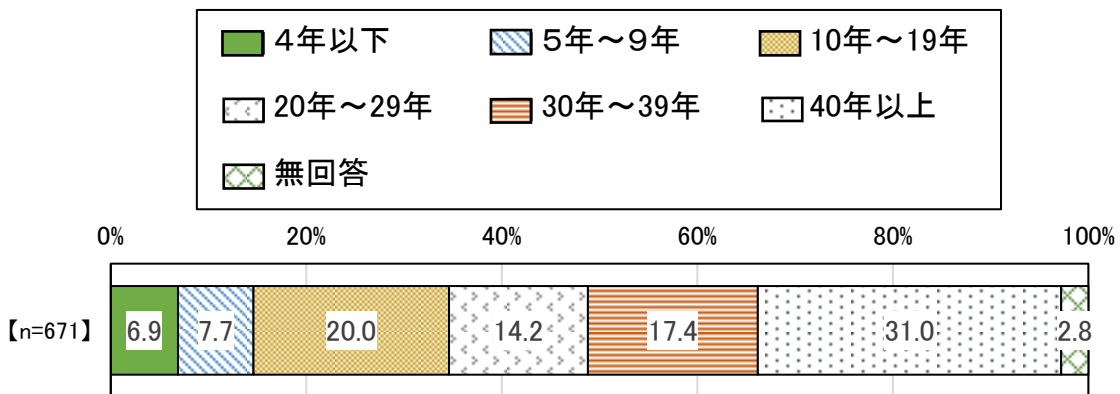
【住居形態】



問1 (8) 居住年数

居住年数は、「40年以上」が31.0%で最も多く、以下、「10年～19年」が20.0%、「30年～39年」が17.4%、「20年～29年」が14.2%、「5年～9年」が7.7%、「4年以下」が6.9%となっています。

【居住年数】



お住まいの地域について

問2 あなたにとって「自分の地域」と感じるのはどれくらいの範囲ですか。(○は1つ)
 ～「自治会・町内会の範囲」が3割、「自宅周辺の近隣」が2割超～

「自分の地域」と感じる範囲は、「自治会・町内会の範囲」が33.8%で最も多く、以下、「自宅周辺の近隣」が27.6%、「日高市全域」が19.7%、「学区の範囲」が14.8%などとなっています。

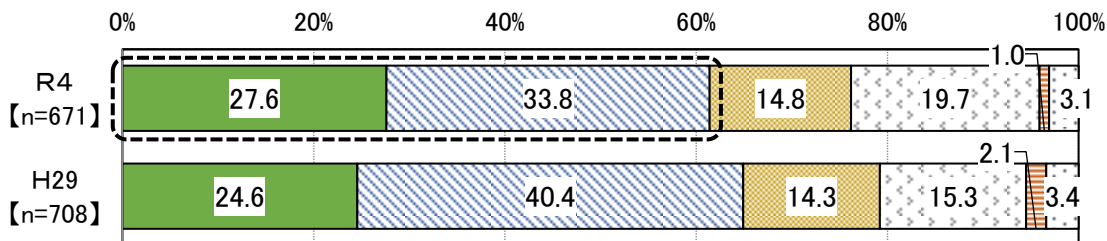
居住区別でみると、「武蔵台・横手台」では、「自治会・町内会の範囲」の割合が他の居住地区よりも多い傾向があります。

平成29年調査との経年比較では、「自治会・町内会の範囲」の割合が減り、「日高市全域」の割合が増えています。

【その他】

近隣市位まで など

【「自分の地域」と感じる範囲】



		自宅周辺の近隣	自治会・町内会の範囲	学区の範囲	日高市全域	その他	無回答
性別	男性【n=293】	24.2	35.8	12.3	24.6	1.4	1.7
	女性【n=314】	29.9	32.5	16.9	16.6	0.6	3.5
	その他【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	20.7	10.3	44.8	20.7	0.0	3.4
	30歳代【n=44】	38.6	13.6	25.0	22.7	0.0	0.0
	40歳代【n=66】	22.7	25.8	24.2	22.7	1.5	3.0
	50歳代【n=107】	19.6	34.6	15.9	28.0	0.9	0.9
	60歳代【n=127】	22.0	45.7	11.8	18.9	1.6	0.0
	70歳代【n=172】	25.0	39.0	10.5	19.8	0.6	5.2
	80歳代【n=73】	42.5	30.1	6.8	13.7	0.0	6.8
	90歳以上【n=12】	41.7	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	30.0	23.3	26.7	11.7	1.7	6.7
	武蔵台・横手台【n=94】	20.2	47.9	9.6	17.0	2.1	3.2
	高麗川【n=205】	31.7	30.2	14.1	22.0	0.5	1.5
	高根【n=47】	25.5	27.7	12.8	27.7	2.1	4.3
	高萩【n=182】	28.0	37.9	10.4	19.8	1.1	2.7
	高萩北【n=59】	16.9	32.2	28.8	18.6	0.0	3.4

問3 自分の地域の住みやすさについて総合的にどう感じますか。(○は1つ)

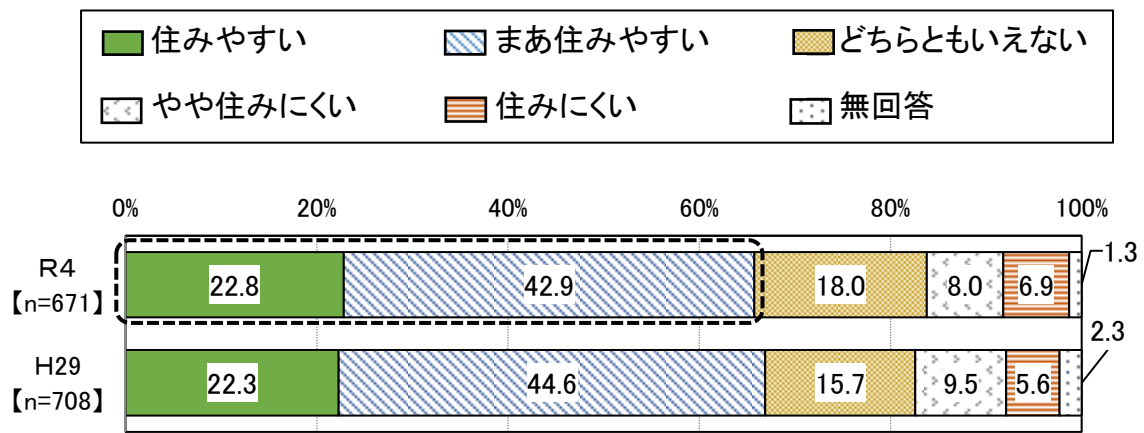
～「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計は6割超～

地域の住みやすさは、「まあ住みやすい」が42.9%で最も多く、以下、「住みやすい」が22.8%、「どちらともいえない」が18.0%、「やや住みにくい」が8.0%、「住みにくい」が6.9%となっています。

居住地区別で「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計をみると、「高麗」が78.3%と最も多く、最も少ない「武蔵台・横手台」とは17.7ポイントの差があります。

平成29年調査との経年比較では、「まあ住みやすい」と「やや住みにくい」の割合が減り、「どちらともいえない」の割合が増えています。

【地域の住みやすさについて】



		住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
性別	男性【n=293】	27.0	43.7	14.3	9.2	5.1	0.7
	女性【n=314】	21.0	43.6	19.4	7.3	7.0	1.6
	その他【n=2】	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	20.7	44.8	27.6	0.0	3.4	3.4
	30歳代【n=44】	13.6	45.5	11.4	15.9	13.6	0.0
	40歳代【n=66】	21.2	51.5	16.7	6.1	1.5	3.0
	50歳代【n=107】	25.2	39.3	19.6	12.1	3.7	0.0
	60歳代【n=127】	21.3	46.5	18.9	6.3	6.3	0.8
	70歳代【n=172】	23.8	44.8	15.7	8.1	5.8	1.7
	80歳代【n=73】	28.8	35.6	17.8	8.2	9.6	0.0
	90歳以上【n=12】	50.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	33.3	45.0	6.7	5.0	8.3	1.7
	武蔵台・横手台【n=94】	17.0	43.6	18.1	12.8	6.4	2.1
	高麗川【n=205】	29.8	37.6	20.5	4.9	6.8	0.5
	高根【n=47】	14.9	53.2	19.1	8.5	4.3	0.0
	高萩【n=182】	18.1	46.2	15.9	10.4	8.2	1.1
	高萩北【n=59】	22.0	42.4	23.7	8.5	1.7	1.7

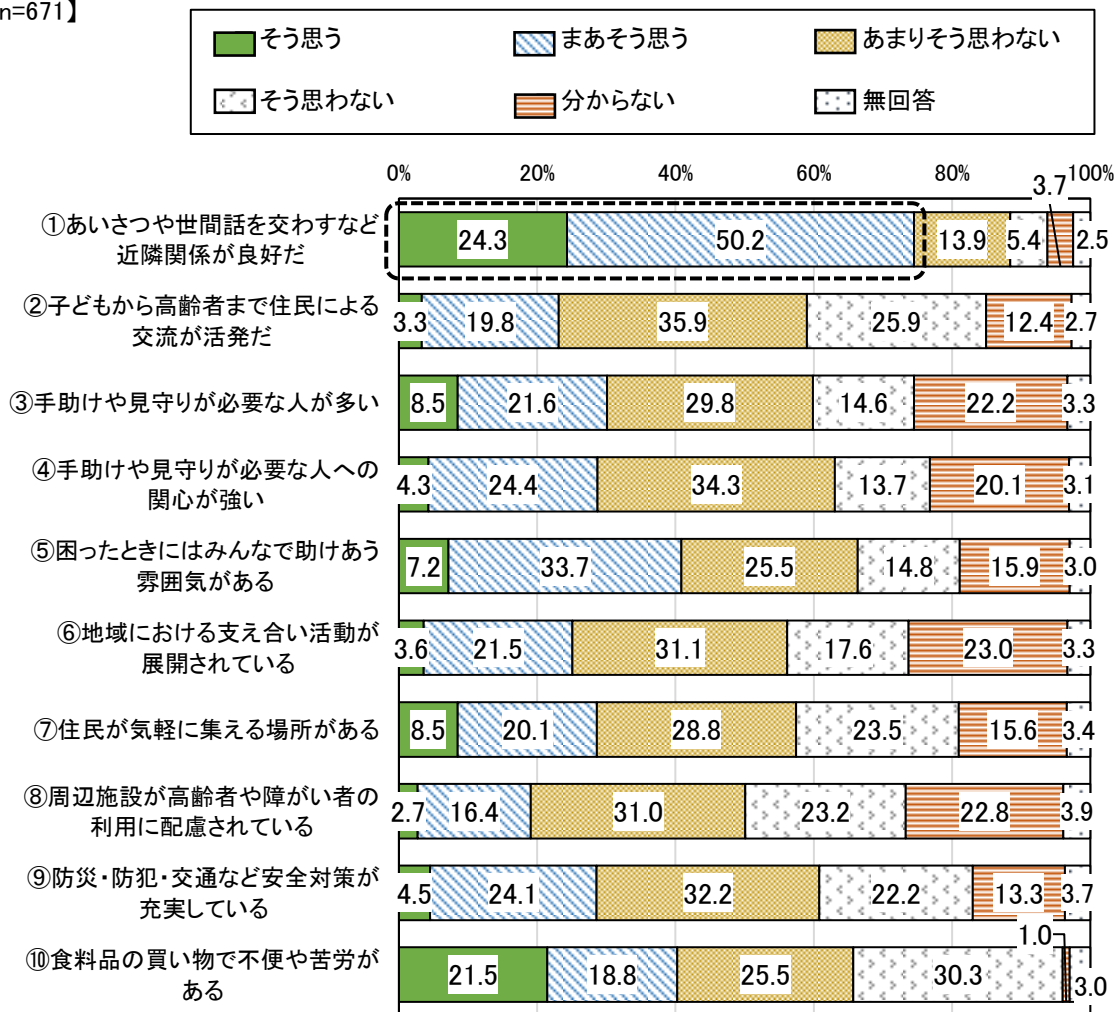
問4 自分の地域や周辺の環境についてどう思いますか。(それぞれ当てはまるものに○)
 ~「①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」は

「そう思う」と「まあそう思う」の合計が7割超~

地域や周辺の環境については、「①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」、「⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある」では「まあそう思う」の割合が最も多くなっています。「⑩食料品の買い物で不便や苦労がある」では「そう思わない」の割合が最も多くなっています。そのほかの設問では、「あまりそう思わない」の割合が最も多くなっています。

【地域や周辺の環境について】

【n=671】



①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を居住地区別で見ると、「高萩」で8割となっていますが、「高根」では5割と差がみられます。
年齢別では、すべての年代で6割以上となっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性【n=293】	24.9	48.8	14.7	5.1	4.4	2.0
	女性【n=314】	24.8	52.2	13.1	5.1	2.5	2.2
	その他【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	10.3	62.1	20.7	3.4	3.4	0.0
	30歳代【n=44】	20.5	47.7	13.6	13.6	4.5	0.0
	40歳代【n=66】	24.2	54.5	15.2	0.0	4.5	1.5
	50歳代【n=107】	22.4	52.3	14.0	7.5	0.9	2.8
	60歳代【n=127】	18.1	55.1	14.2	6.3	3.9	2.4
	70歳代【n=172】	31.4	47.7	12.2	2.9	2.9	2.9
	80歳代【n=73】	32.9	39.7	11.0	5.5	6.8	4.1
	90歳以上【n=12】	25.0	50.0	0.0	8.3	16.7	0.0
居住地区	高麗【n=60】	21.7	56.7	15.0	3.3	3.3	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	22.3	50.0	13.8	6.4	3.2	4.3
	高麗川【n=205】	23.4	48.3	14.6	5.9	5.4	2.4
	高根【n=47】	23.4	29.8	29.8	10.6	4.3	2.1
	高萩【n=182】	28.0	54.9	9.9	3.3	1.6	2.2
	高萩北【n=59】	22.0	54.2	13.6	3.4	5.1	1.7

②子どもから高齢者まで住民による交流が活発だ

性別、年齢、居住地区のいずれの区分でも「そう思う」、「まあそう思う」の合計よりも「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計の方が多くなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性【n=293】	4.4	22.5	36.5	23.2	10.9	2.4
	女性【n=314】	2.2	17.5	37.3	27.7	13.1	2.2
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	20.7	34.5	24.1	13.8	0.0
	30歳代【n=44】	4.5	15.9	43.2	9.1	27.3	0.0
	40歳代【n=66】	4.5	24.2	37.9	18.2	13.6	1.5
	50歳代【n=107】	3.7	25.2	34.6	28.0	5.6	2.8
	60歳代【n=127】	2.4	18.1	34.6	30.7	12.6	1.6
	70歳代【n=172】	2.3	19.2	39.5	25.6	10.5	2.9
	80歳代【n=73】	4.1	15.1	32.9	30.1	12.3	5.5
	90歳以上【n=12】	0.0	16.7	8.3	33.3	33.3	8.3
居住地区	高麗【n=60】	8.3	15.0	45.0	26.7	5.0	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	2.1	12.8	37.2	27.7	14.9	5.3
	高麗川【n=205】	3.4	26.3	35.6	22.0	10.2	2.4
	高根【n=47】	2.1	8.5	38.3	40.4	10.6	0.0
	高萩【n=182】	3.3	21.4	31.3	27.5	13.7	2.7
	高萩北【n=59】	1.7	16.9	40.7	23.7	15.3	1.7

③手助けや見守りが必要な人が多い

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を年齢別で見ると、20歳代、30歳代で多くなっていますが、40歳代、60歳代以上では「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合計した割合のほうが多くなっています。50歳代では、「そう思う」と「まあそう思う」の合計と「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計の差が一番小さくなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	9.9	22.2	31.1	15.0	18.8	3.1
	女性【n=314】	7.0	22.0	30.3	14.3	23.9	2.5
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	17.2	27.6	24.1	13.8	17.2	0.0
	30歳代【n=44】	18.2	13.6	18.2	6.8	43.2	0.0
	40歳代【n=66】	7.6	13.6	31.8	18.2	27.3	1.5
	50歳代【n=107】	13.1	28.0	35.5	4.7	16.8	1.9
	60歳代【n=127】	4.7	22.0	30.7	21.3	18.9	2.4
	70歳代【n=172】	4.1	24.4	33.1	15.1	19.2	4.1
	80歳代【n=73】	8.2	17.8	23.3	19.2	24.7	6.8
	90歳以上【n=12】	16.7	8.3	16.7	16.7	33.3	8.3
居住地区	高麗【n=60】	3.3	25.0	41.7	20.0	10.0	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	11.7	31.9	22.3	8.5	20.2	5.3
	高麗川【n=205】	6.3	15.6	32.7	17.1	25.4	2.9
	高根【n=47】	14.9	34.0	25.5	10.6	14.9	0.0
	高萩【n=182】	8.2	23.6	28.0	12.1	24.2	3.8
	高萩北【n=59】	10.2	11.9	30.5	20.3	23.7	3.4

④手助けや見守りが必要な人への関心が強い

性別、年齢、居住地区のいずれの区分でも「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計の方が多くなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	3.8	23.9	35.5	15.7	18.4	2.7
	女性【n=314】	5.7	24.5	34.7	12.4	20.4	2.2
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	3.4	31.0	24.1	24.1	17.2	0.0
	30歳代【n=44】	4.5	9.1	36.4	13.6	36.4	0.0
	40歳代【n=66】	3.0	12.1	40.9	13.6	27.3	3.0
	50歳代【n=107】	3.7	27.1	42.1	13.1	12.1	1.9
	60歳代【n=127】	3.9	25.2	34.6	14.2	19.7	2.4
	70歳代【n=172】	7.0	29.7	27.3	14.0	19.2	2.9
	80歳代【n=73】	1.4	24.7	37.0	12.3	17.8	6.8
	90歳以上【n=12】	8.3	8.3	33.3	0.0	41.7	8.3
居住地区	高麗【n=60】	5.0	35.0	35.0	11.7	13.3	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	1.1	31.9	33.0	9.6	19.1	5.3
	高麗川【n=205】	4.9	21.5	35.1	14.1	22.0	2.4
	高根【n=47】	4.3	21.3	36.2	21.3	17.0	0.0
	高萩【n=182】	5.5	24.2	32.4	14.3	19.8	3.8
	高萩北【n=59】	3.4	16.9	37.3	15.3	23.7	3.4

⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、20歳代で5割台と割合が最も多くなっています。その一方で、30歳代は3割弱と少なくなっています。

居住地区別では、「高麗」が5割と最も多く、「高麗川」、「高萩北」が4割台、ほかの居住地区では3割台と差がみられました。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性【n=293】	7.8	36.5	22.2	16.7	14.0	2.7
	女性【n=314】	6.4	32.8	29.3	12.7	16.2	2.5
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	51.7	13.8	13.8	13.8	0.0
	30歳代【n=44】	4.5	25.0	25.0	20.5	25.0	0.0
	40歳代【n=66】	4.5	43.9	21.2	10.6	16.7	3.0
	50歳代【n=107】	6.5	34.6	29.0	15.9	12.1	1.9
	60歳代【n=127】	7.9	33.1	25.2	16.5	15.7	1.6
	70歳代【n=172】	6.4	34.3	25.6	11.6	16.9	5.2
	80歳代【n=73】	8.2	27.4	31.5	16.4	11.0	5.5
	90歳以上【n=12】	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0
居住地区	高麗【n=60】	11.7	40.0	26.7	10.0	11.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	5.3	30.9	30.9	10.6	17.0	5.3
	高麗川【n=205】	9.3	33.2	23.4	15.1	16.1	2.9
	高根【n=47】	4.3	31.9	34.0	19.1	10.6	0.0
	高萩【n=182】	6.0	33.5	25.3	15.4	16.5	3.3
	高萩北【n=59】	5.1	37.3	18.6	18.6	18.6	1.7

⑥地域における支え合い活動が展開されている

性別、年齢、居住地区のいずれの区分でも「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計の方が多い傾向がみられました。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性【n=293】	3.8	21.2	35.2	19.1	17.7	3.1
	女性【n=314】	2.9	21.3	29.6	16.9	26.8	2.5
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	24.1	20.7	17.2	31.0	0.0
	30歳代【n=44】	2.3	20.5	20.5	20.5	36.4	0.0
	40歳代【n=66】	3.0	19.7	37.9	7.6	28.8	3.0
	50歳代【n=107】	2.8	25.2	30.8	15.0	24.3	1.9
	60歳代【n=127】	2.4	22.0	36.2	17.3	20.5	1.6
	70歳代【n=172】	4.7	22.1	32.6	18.6	18.0	4.1
	80歳代【n=73】	2.7	13.7	28.8	28.8	17.8	8.2
	90歳以上【n=12】	8.3	8.3	41.7	8.3	25.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	5.0	25.0	38.3	23.3	8.3	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	5.3	29.8	25.5	12.8	19.1	7.4
	高麗川【n=205】	3.4	19.0	27.8	16.6	30.7	2.4
	高根【n=47】	0.0	21.3	42.6	23.4	12.8	0.0
	高萩【n=182】	2.7	21.4	32.4	17.6	22.0	3.8
	高萩北【n=59】	5.1	15.3	32.2	15.3	30.5	1.7

⑦住民が気軽に集える場所がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を年齢別で見ると、80歳代が最も多く、30歳代が最も少なくなっています。

居住地区別では、「高萩北」が最も少なくなっており、相対的に「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計が最も多くなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	8.5	23.2	27.6	23.5	13.3	3.8
	女性【n=314】	7.6	16.9	32.8	23.6	16.6	2.5
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	20.7	31.0	20.7	20.7	0.0
	30歳代【n=44】	0.0	15.9	31.8	18.2	34.1	0.0
	40歳代【n=66】	3.0	19.7	31.8	19.7	21.2	4.5
	50歳代【n=107】	5.6	22.4	34.6	21.5	14.0	1.9
	60歳代【n=127】	7.9	24.4	29.1	25.2	11.8	1.6
	70歳代【n=172】	11.0	17.4	29.7	25.6	11.6	4.7
	80歳代【n=73】	20.5	17.8	16.4	28.8	9.6	6.8
	90歳以上【n=12】	8.3	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3
居住地区	高麗【n=60】	15.0	20.0	33.3	25.0	6.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	5.3	26.6	27.7	19.1	16.0	5.3
	高麗川【n=205】	10.7	20.0	25.9	23.4	16.6	3.4
	高根【n=47】	4.3	27.7	25.5	34.0	6.4	2.1
	高萩【n=182】	8.8	17.0	29.1	23.1	18.7	3.3
	高萩北【n=59】	1.7	15.3	42.4	18.6	18.6	3.4

⑧周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されている

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を年齢別で見ると、60歳代と30歳代の割合が多い傾向がみられます。

居住地区別では、「高麗川」、「武蔵台・横手台」、「高麗」で割合が多い傾向がみられました。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	2.0	21.2	30.7	22.2	21.2	2.7
	女性【n=314】	3.2	13.7	32.5	23.9	22.6	4.1
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	13.8	41.4	10.3	27.6	0.0
	30歳代【n=44】	0.0	25.0	18.2	18.2	38.6	0.0
	40歳代【n=66】	1.5	16.7	40.9	22.7	15.2	3.0
	50歳代【n=107】	1.9	19.6	35.5	19.6	20.6	2.8
	60歳代【n=127】	3.1	22.8	26.0	24.4	21.3	2.4
	70歳代【n=172】	2.3	13.4	33.1	25.0	20.9	5.2
	80歳代【n=73】	4.1	11.0	24.7	30.1	21.9	8.2
	90歳以上【n=12】	16.7	0.0	8.3	41.7	25.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	6.7	15.0	38.3	26.7	11.7	1.7
	武蔵台・横手台【n=94】	1.1	22.3	26.6	21.3	22.3	6.4
	高麗川【n=205】	5.4	18.0	24.4	18.0	29.8	4.4
	高根【n=47】	0.0	14.9	44.7	29.8	10.6	0.0
	高萩【n=182】	1.1	12.1	31.3	27.5	24.2	3.8
	高萩北【n=59】	0.0	18.6	42.4	20.3	16.9	1.7

⑨防災・防犯・交通など安全対策が充実している

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を年齢別で見ると、20歳代が最も多くなっています。その一方で、30歳代が最も少なく、相対的に「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計が多くなっています。

居住地区別では、「高萩北」が最も多くなっています。その一方で、「高根」が最も少なくなっています。また、「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計が最も多いのが、「高根」でした。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	2.7	26.3	36.9	19.1	12.3	2.7
	女性【n=314】	5.7	22.9	30.6	23.9	12.7	4.1
	その他【n=2】	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	31.0	41.4	3.4	17.2	0.0
	30歳代【n=44】	2.3	18.2	34.1	27.3	18.2	0.0
	40歳代【n=66】	1.5	30.3	28.8	27.3	7.6	4.5
	50歳代【n=107】	2.8	22.4	34.6	22.4	15.9	1.9
	60歳代【n=127】	3.9	26.8	33.9	22.0	10.2	3.1
	70歳代【n=172】	4.7	22.7	36.6	20.9	9.9	5.2
	80歳代【n=73】	8.2	20.5	23.3	30.1	13.7	4.1
	90歳以上【n=12】	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	3.3	20.0	40.0	25.0	10.0	1.7
	武蔵台・横手台【n=94】	4.3	26.6	35.1	13.8	11.7	8.5
	高麗川【n=205】	6.3	25.4	29.8	20.5	14.1	3.9
	高根【n=47】	2.1	23.4	38.3	29.8	6.4	0.0
	高萩【n=182】	4.9	22.5	28.0	26.4	15.4	2.7
	高萩北【n=59】	1.7	30.5	37.3	16.9	11.9	1.7

⑩食料品の買い物で不便や苦労がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計を年齢別で見ると、4割台の年齢階級と3割台の年齢階級の二極化の様相がみられます。

居住地区別で見ると、「高麗」、「武蔵台・横手台」で6割となっていますが、「高麗川」、「高萩北」で2割と大きな差がみられます。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	17.4	17.4	22.9	38.6	1.0	2.7
	女性【n=314】	23.9	17.8	29.3	25.5	1.0	2.5
	その他【n=2】	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	17.2	24.1	13.8	44.8	0.0	0.0
	30歳代【n=44】	22.7	11.4	29.5	34.1	2.3	0.0
	40歳代【n=66】	16.7	18.2	16.7	43.9	1.5	3.0
	50歳代【n=107】	20.6	18.7	26.2	30.8	1.9	1.9
	60歳代【n=127】	15.0	22.8	29.9	29.9	0.0	2.4
	70歳代【n=172】	20.9	20.9	25.6	27.9	0.6	4.1
	80歳代【n=73】	31.5	12.3	30.1	21.9	0.0	4.1
	90歳以上【n=12】	33.3	0.0	33.3	25.0	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	38.3	23.3	23.3	13.3	1.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	26.6	38.3	13.8	14.9	2.1	4.3
	高麗川【n=205】	15.1	5.9	26.8	47.3	0.5	4.4
	高根【n=47】	19.1	38.3	23.4	19.1	0.0	0.0
	高萩【n=182】	23.1	18.7	32.4	22.0	1.6	2.2
	高萩北【n=59】	11.9	10.2	25.4	50.8	0.0	1.7

問5 どのような近所づきあいをしていますか。(○は1つ)

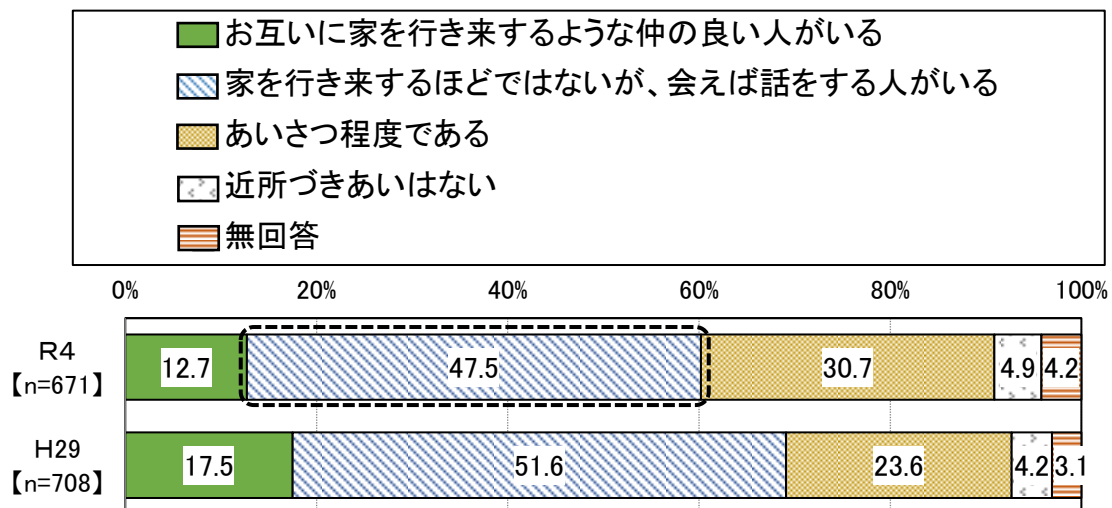
～「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が5割弱～

どのような近所づきあいをしているかは、「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が47.5%で最も多く、以下、「あいさつ程度である」が30.7%、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」が12.7%、「近所づきあいはない」が4.9%となっています。

年齢別でみると、40歳代までは「あいさつ程度である」の割合が多く、50歳代以降では「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」の割合が多くなるなど、二極化している様子が見えます。

平成29年調査との経年比較では、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」と「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」の割合が減り、「あいさつ程度である」の割合が増えています。

【どのような近所づきあいをしているか】



		お互いに 家を行き 来するよ うな仲の良 い人がい る	家を行き 来するほ どではな いが、会 えば話を する人が いる	あいさつ 程度であ る	近所づき あいはな い	無回答
性別	男性【n=293】	9.6	50.5	31.1	6.5	2.4
	女性【n=314】	14.6	46.2	31.8	3.5	3.8
	その他【n=2】	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	0.0	13.8	72.4	13.8	0.0
	30歳代【n=44】	2.3	31.8	52.3	13.6	0.0
	40歳代【n=66】	6.1	34.8	53.0	3.0	3.0
	50歳代【n=107】	8.4	53.3	32.7	3.7	1.9
	60歳代【n=127】	9.4	54.3	28.3	6.3	1.6
	70歳代【n=172】	22.1	52.9	18.0	2.9	4.1
	80歳代【n=73】	17.8	49.3	16.4	2.7	13.7
	90歳以上【n=12】	8.3	50.0	25.0	0.0	16.7
	居住地区	高麗【n=60】	18.3	61.7	16.7	1.7
武蔵台・横手台【n=94】		16.0	35.1	38.3	4.3	6.4
高麗川【n=205】		14.6	45.4	28.8	7.3	3.9
高根【n=47】		6.4	48.9	36.2	8.5	0.0
高萩【n=182】		13.2	48.4	31.3	3.3	3.8
	高萩北【n=59】	3.4	54.2	35.6	1.7	5.1

【「3. あいさつ程度である」「4. 近所づきあいはない」と答えた方】

付問1 あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

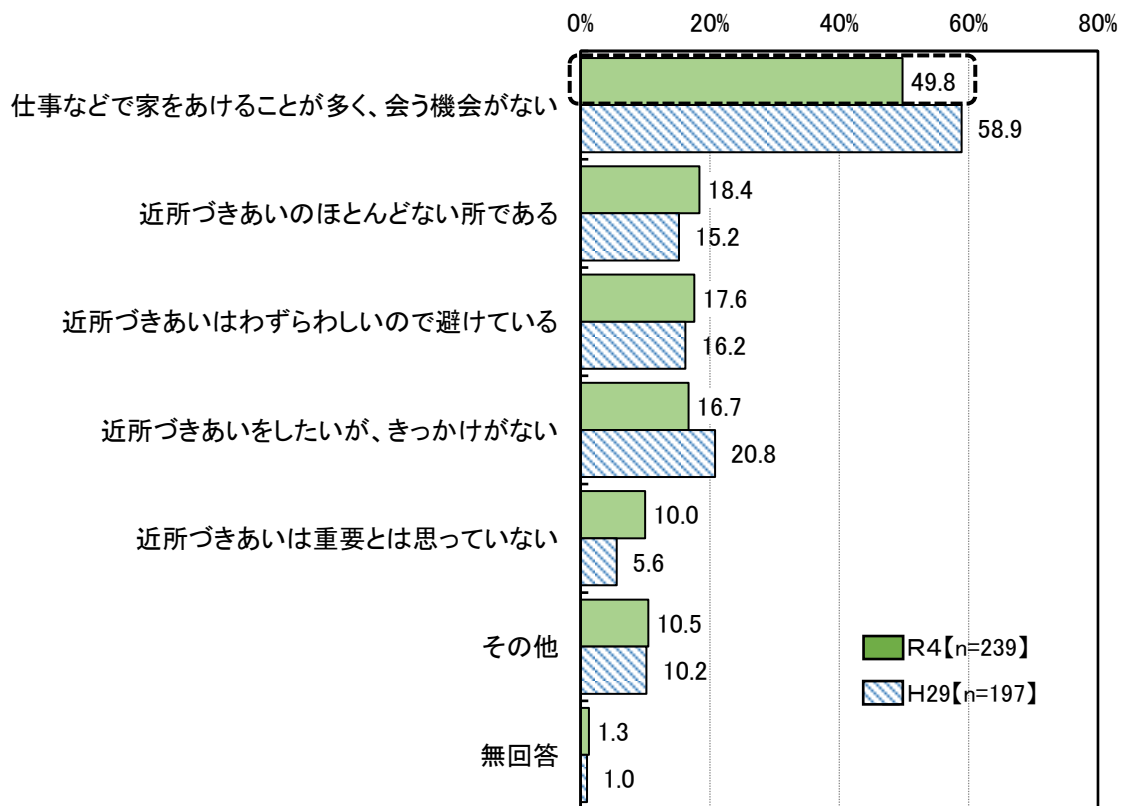
～「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が5割弱～

近所づきあいをしていない理由は、「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が49.8%で最も多く、以下、「近所づきあいのほとんどない所である」が18.4%、「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が17.6%、「近所づきあいをしたいが、きっかけがない」が16.7%となっています。

【その他】

コロナ禍で近所づきあいをしていない／話が合わない／出かける機会がない など

【近所づきあいをしていない理由】



問6 自分の地域で行われている行事や活動などに参加していますか。(〇はいくつでも)
 ~活動への参加は「清掃・美化活動」が5割「お祭り、盆踊りなど」は3割弱、

「活動はしていない」も3割~

地域の行事や活動などに参加しているかは、「清掃・美化活動」が52.2%で最も多く、以下、「活動はしていない」が31.6%、「お祭り、盆踊りなど」が27.0%、「体育祭」が18.6%、「防犯・防災活動」が16.1%などとなっています。

年齢別で「お祭り、盆踊りなど」をみると、20歳代、30歳代の割合は少なく、40歳代以降では割合が多い傾向がみられます。

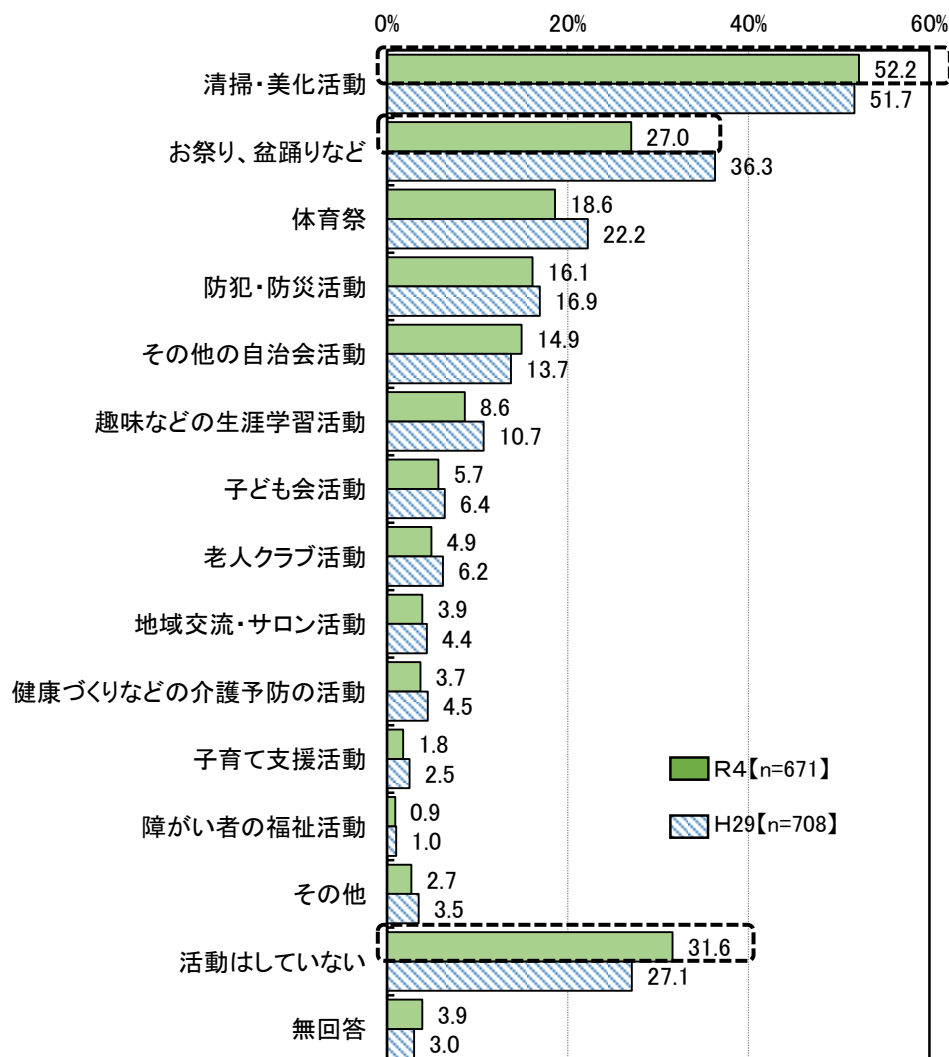
居住地区別で「お祭り、盆踊りなど」をみると、「武蔵台・横手台」が最も少なく、最も多い「高萩北」との差は、19.2ポイントでした。

平成29年調査との経年比較では、上位項目の順位に変わりはありませんでしたが、「お祭り、盆踊り」、「体育祭」の割合が減っています。

【その他】

地域の廃品回収／コロナ禍で行事がない、活動を中止している など

【地域の行事や活動などに参加しているか】



		清掃・美化活動	お祭り、盆踊りなど	体育祭	防犯・防災活動	その他の自治会活動	趣味などの生涯学習活動	子ども会活動	老人クラブ活動
性別	男性【n=293】	50.5	32.1	26.6	16.0	21.2	8.2	6.8	4.1
	女性【n=314】	55.4	22.3	11.5	16.2	9.6	9.9	5.4	5.4
	その他【n=2】	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	13.8	13.8	10.3	6.9	3.4	0.0	3.4	0.0
	30歳代【n=44】	34.1	13.6	13.6	11.4	11.4	2.3	18.2	0.0
	40歳代【n=66】	54.5	34.8	22.7	18.2	12.1	1.5	19.7	1.5
	50歳代【n=107】	55.1	29.9	21.5	7.5	18.7	1.9	5.6	1.9
	60歳代【n=127】	59.8	30.7	21.3	18.9	21.3	11.0	0.0	1.6
	70歳代【n=172】	61.6	29.1	18.0	22.7	13.4	16.9	4.7	7.6
	80歳代【n=73】	47.9	20.5	19.2	17.8	16.4	11.0	2.7	17.8
	90歳以上【n=12】	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	61.7	26.7	26.7	30.0	15.0	13.3	10.0	3.3
	武蔵台・横手台【n=94】	57.4	18.1	5.3	5.3	10.6	13.8	0.0	2.1
	高麗川【n=205】	53.7	30.2	19.0	17.1	18.5	9.3	7.8	6.3
	高根【n=47】	42.6	23.4	8.5	14.9	14.9	10.6	0.0	2.1
	高萩【n=182】	51.1	26.4	24.7	17.0	15.4	5.5	5.5	7.1
	高萩北【n=59】	47.5	37.3	18.6	16.9	10.2	5.1	6.8	1.7

		地域交流・サロン活動	健康づくりなどの介護予防の活動	子育て支援活動	障がい者の福祉活動	その他	活動はしていない	無回答
性別	男性【n=293】	5.1	2.0	3.1	0.3	2.4	33.1	2.4
	女性【n=314】	3.2	5.4	0.6	1.6	2.9	29.6	3.8
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	58.6	3.4
	30歳代【n=44】	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	45.5	2.3
	40歳代【n=66】	1.5	0.0	4.5	0.0	1.5	31.8	3.0
	50歳代【n=107】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	30.8	1.9
	60歳代【n=127】	3.9	1.6	0.8	1.6	2.4	25.2	3.1
	70歳代【n=172】	6.4	7.6	2.3	1.2	2.3	21.5	4.7
	80歳代【n=73】	9.6	12.3	4.1	1.4	4.1	41.1	6.8
	90歳以上【n=12】	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	50.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	6.7	5.0	3.3	1.7	1.7	23.3	3.3
	武蔵台・横手台【n=94】	8.5	3.2	2.1	1.1	2.1	25.5	4.3
	高麗川【n=205】	3.9	3.4	2.0	0.5	3.9	29.8	3.4
	高根【n=47】	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	44.7	2.1
	高萩【n=182】	1.6	4.4	1.1	1.1	2.2	34.1	3.8
	高萩北【n=59】	3.4	5.1	1.7	0.0	1.7	27.1	5.1

問7 地域活動や行事が活発に行われるには、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)
 ~「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が6割~

地域活動や行事を活発にするために大切だと思うことは、「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が60.1%で最も多く、以下、「住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす」が32.3%、「集会所など地域活動が行える場所の整備をする」が21.6%、「学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす」が20.6%、「子ども会、老人クラブなどの活動を活発にする」が12.4%などとなっています。

年齢別で「学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす」をみると、30歳代の割合が最も多く、年齢階級が上がるに連れ、その割合は漸減しています。

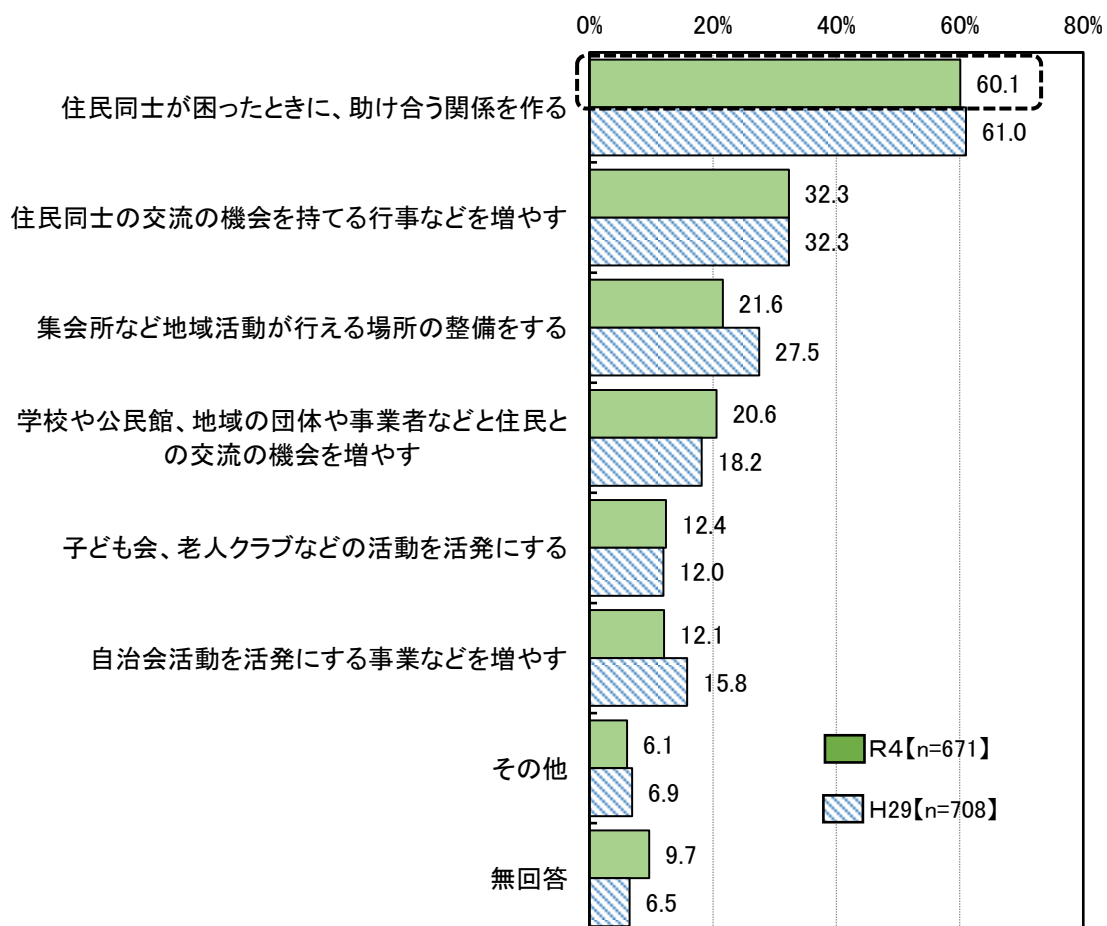
居住地区別で「住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす」をみると、割合が最も多い「高麗」と割合が最も低い「高萩北」では、29.8ポイントもの差がありました。

平成29年調査との経年比較では、上位の順位に変わりはありませんが、「集会所など地域活動が行える場所の整備をする」の割合が減っています。

【その他】

負担をかけないでできることをやる など

【地域活動や行事を活発にするために大切だと思うこと】



		住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る	住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす	集会所など地域活動が行える場所の整備をする	学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす	子ども会、老人クラブなどの活動を活発にする	自治会活動を活発にする事業などを増やす	その他	無回答
性別	男性【n=293】	59.4	36.2	24.6	21.5	9.9	14.7	6.1	7.2
	女性【n=314】	61.5	29.9	18.5	22.3	14.3	9.6	4.1	10.8
	その他【n=2】	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	55.2	24.1	17.2	27.6	17.2	0.0	0.0	3.4
	30歳代【n=44】	47.7	36.4	27.3	29.5	22.7	11.4	9.1	2.3
	40歳代【n=66】	56.1	33.3	18.2	25.8	13.6	19.7	1.5	10.6
	50歳代【n=107】	61.7	26.2	22.4	24.3	14.0	6.5	5.6	3.7
	60歳代【n=127】	58.3	38.6	18.1	22.0	5.5	12.6	8.7	8.7
	70歳代【n=172】	65.1	29.7	22.7	18.0	12.8	10.5	6.4	12.8
	80歳代【n=73】	64.4	39.7	23.3	11.0	13.7	19.2	2.7	19.2
	90歳以上【n=12】	58.3	25.0	8.3	0.0	8.3	33.3	0.0	16.7
居住地区	高麗【n=60】	55.0	41.7	33.3	23.3	8.3	15.0	5.0	8.3
	武蔵台・横手台【n=94】	59.6	30.9	23.4	24.5	10.6	10.6	10.6	8.5
	高麗川【n=205】	62.0	33.7	19.0	18.5	10.7	11.2	2.4	12.7
	高根【n=47】	57.4	38.3	27.7	42.6	8.5	12.8	6.4	2.1
	高萩【n=182】	61.5	35.2	23.1	17.0	17.0	13.7	6.0	7.7
	高萩北【n=59】	57.6	11.9	13.6	16.9	15.3	11.9	11.9	10.2

日常生活や福祉の課題について

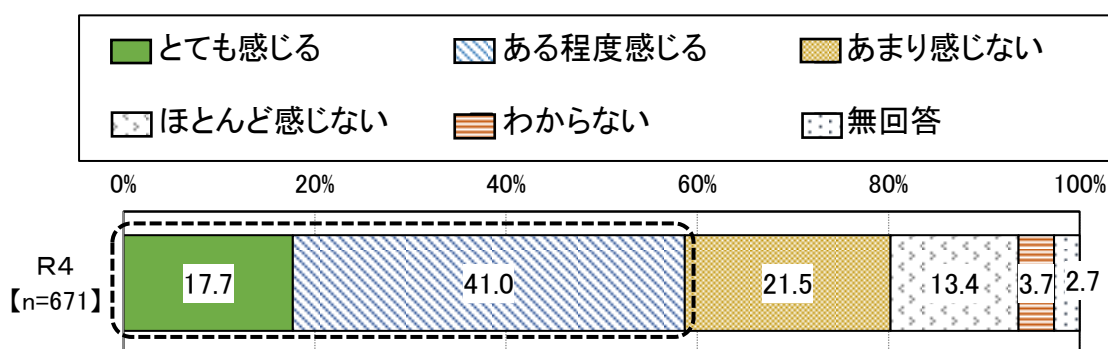
問8 普段親しい人が身近にいると感じますか。(○は1つ)

～「とても感じる」と「ある程度感じる」の合計が6割弱～

普段親しい人が身近にいると感じているか尋ねたところ、「ある程度感じる」が41.0%で最も多く、以下、「あまり感じない」が21.5%、「とても感じる」が17.7%、「ほとんど感じない」が13.4%、「わからない」が3.7%などとなっています。

年齢別で「とても感じる」をみると、20歳代が37.9%で最も多く、60歳代が5.5%と最も少なく、その差は32.4ポイントでした。

【親しい人が身近にいると感じるか】



		とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない	無回答
性別	男性【n=293】	15.4	38.2	24.9	16.7	3.1	1.7
	女性【n=314】	21.0	43.3	19.1	8.9	4.5	3.2
	その他【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	37.9	37.9	13.8	3.4	6.9	0.0
	30歳代【n=44】	22.7	34.1	20.5	13.6	9.1	0.0
	40歳代【n=66】	16.7	34.8	28.8	9.1	6.1	4.5
	50歳代【n=107】	17.8	37.4	27.1	15.9	0.0	1.9
	60歳代【n=127】	5.5	44.1	24.4	18.1	4.7	3.1
	70歳代【n=172】	19.2	45.9	16.3	12.8	2.3	3.5
	80歳代【n=73】	23.3	42.5	16.4	9.6	4.1	4.1
	90歳以上【n=12】	25.0	33.3	25.0	8.3	8.3	0.0
居住地	高麗【n=60】	21.7	53.3	15.0	8.3	1.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	13.8	43.6	21.3	13.8	3.2	4.3
	高麗川【n=205】	18.5	37.6	21.0	14.6	4.9	3.4
	高根【n=47】	10.6	38.3	27.7	21.3	2.1	0.0
	高萩【n=182】	19.2	44.0	19.2	11.5	3.3	2.7
	高萩北【n=59】	20.3	40.7	25.4	6.8	5.1	1.7

問9 日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

～「健康に関すること」が6割弱、「老後の暮らしに関すること」が5割弱～

どのようなことに悩みや不安を感じるかは、「健康に関すること」が59.0%で最も多く、以下、「老後の暮らしに関すること」が49.2%、「収入など経済に関すること」が36.2%、「災害に関すること」が27.3%、「介護に関すること」が25.0%などとなっています。

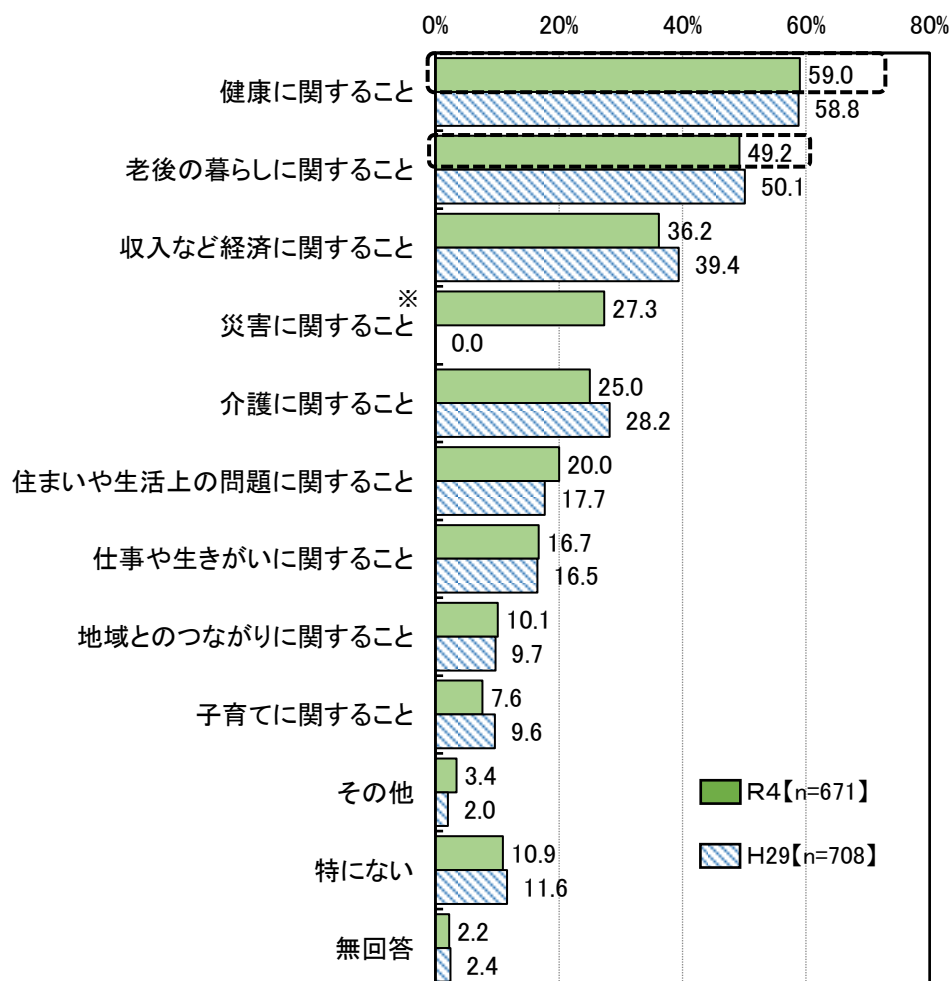
年齢別で「収入など経済に関すること」をみると、20歳代から50歳代の割合が多い傾向がみられます。また、「老後の暮らしに関すること」では、40歳代から70歳代の割合が多くなっています。

居住地区別で「健康に関すること」をみると、すべての居住地区で5割以上となっている中、「高麗」は6割後半と多い傾向がみられます。

【その他】

地域の高齢化／近所トラブル／自分が死んだあとの子供の生活 など

【どのようなことに悩みや不安を感じるか】



※新規追加項目

		健康に関すること	老後の暮らしに関すること	収入など経済に関すること	災害に関すること	介護に関すること	住まいや生活上の問題に関すること	仕事や生きがいにに関すること	地域とのつながりにに関すること
性別	男性【n=293】	59.7	43.3	37.2	22.2	22.5	20.1	20.1	10.2
	女性【n=314】	58.6	53.5	34.1	32.2	26.1	18.8	13.1	10.5
	その他【n=2】	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	20.7	17.2	44.8	13.8	0.0	17.2	41.4	0.0
	30歳代【n=44】	29.5	22.7	52.3	20.5	6.8	29.5	34.1	13.6
	40歳代【n=66】	48.5	56.1	48.5	28.8	27.3	16.7	28.8	9.1
	50歳代【n=107】	55.1	57.9	43.0	31.8	31.8	18.7	18.7	14.0
	60歳代【n=127】	66.1	52.8	38.6	25.2	19.7	26.8	14.2	8.7
	70歳代【n=172】	69.2	54.1	23.3	29.1	24.4	15.7	4.7	8.7
	80歳代【n=73】	65.8	38.4	21.9	30.1	38.4	13.7	11.0	17.8
	90歳以上【n=12】	75.0	41.7	8.3	41.7	41.7	8.3	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	68.3	53.3	31.7	38.3	28.3	20.0	20.0	10.0
	武蔵台・横手台【n=94】	56.4	55.3	35.1	26.6	25.5	21.3	10.6	10.6
	高麗川【n=205】	58.5	46.3	32.7	25.4	22.4	19.5	12.7	6.3
	高根【n=47】	57.4	59.6	44.7	29.8	38.3	23.4	21.3	12.8
	高萩【n=182】	59.9	48.4	35.2	28.6	24.7	18.7	20.9	13.7
	高萩北【n=59】	55.9	39.0	45.8	20.3	20.3	16.9	20.3	10.2

		子育てに関すること	その他	特にな	無回答
性別	男性【n=293】	8.2	3.4	14.3	1.7
	女性【n=314】	7.6	3.2	7.0	2.2
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	13.8	3.4	24.1	0.0
	30歳代【n=44】	36.4	2.3	13.6	0.0
	40歳代【n=66】	28.8	3.0	4.5	1.5
	50歳代【n=107】	7.5	2.8	9.3	2.8
	60歳代【n=127】	0.8	2.4	11.0	1.6
	70歳代【n=172】	0.0	2.9	11.0	3.5
	80歳代【n=73】	0.0	6.8	12.3	4.1
	90歳以上【n=12】	0.0	8.3	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	5.0	3.3	8.3	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	6.4	2.1	7.4	4.3
	高麗川【n=205】	7.8	3.4	13.7	2.9
	高根【n=47】	6.4	6.4	10.6	0.0
	高萩【n=182】	7.7	2.2	8.8	1.6
	高萩北【n=59】	13.6	6.8	13.6	1.7

問 10 悩みや不安などがあるとき、どこ（だれ）に相談をしますか。（〇はいくつでも）
 ～相談相手は「家族・親戚」が8割、「友人・知人」が4割超～

悩みや不安なことの相談先は、「家族・親戚」が80.3%で最も多く、以下、「友人・知人」が44.4%、「職場の人」が13.7%、「医療機関」が11.5%、「地域包括支援センター」が9.4%などとなっています。

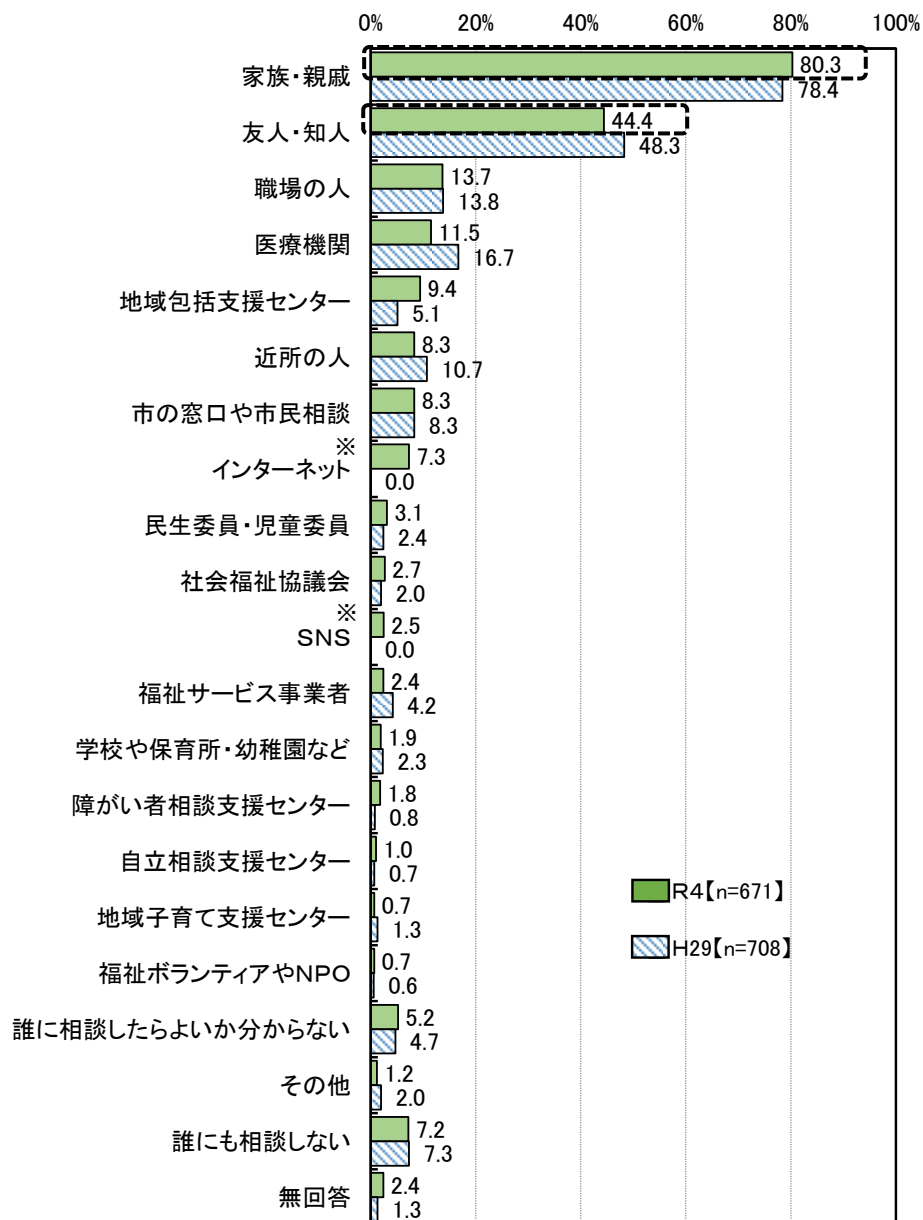
年齢別で「友人・知人」をみると、20歳代から60歳代にかけて割合が多く、70歳代から90歳以上では、割合が少なくなる傾向がみられます。

平成29年調査との経年比較では、上位項目の順位に変化はありませんが、「家族・親戚」の割合が微増し、「友人・知人」の割合が微減しています。

【その他】

弁護士／ある程度の悩み等は自己解決／誰もいない など

【悩みや不安なことの相談先】



※新規追加項目

		家族・親戚	友人・知人	職場の人	医療機関	地域包括支援センター	近所の人	市の窓口や市民相談	インターネット
性別	男性【n=293】	76.8	36.2	10.9	14.0	9.2	7.8	9.6	8.2
	女性【n=314】	84.7	53.2	16.9	9.2	9.2	8.0	6.4	6.4
	その他【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	79.3	72.4	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1
	30歳代【n=44】	79.5	56.8	20.5	4.5	0.0	2.3	2.3	9.1
	40歳代【n=66】	86.4	45.5	37.9	7.6	1.5	3.0	6.1	7.6
	50歳代【n=107】	78.5	51.4	25.2	5.6	4.7	5.6	5.6	6.5
	60歳代【n=127】	79.5	45.7	11.0	15.0	7.1	8.7	6.3	7.9
	70歳代【n=172】	82.6	39.5	1.7	15.1	14.5	12.8	11.6	7.6
	80歳代【n=73】	79.5	27.4	0.0	17.8	20.5	11.0	15.1	1.4
	90歳以上【n=12】	83.3	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	90.0	51.7	8.3	11.7	16.7	10.0	6.7	6.7
	武蔵台・横手台【n=94】	84.0	42.6	12.8	7.4	9.6	11.7	7.4	7.4
	高麗川【n=205】	75.1	42.9	12.7	11.7	6.3	8.8	9.3	4.9
	高根【n=47】	76.6	53.2	23.4	19.1	10.6	2.1	8.5	12.8
	高萩【n=182】	83.5	41.8	11.0	11.5	8.2	8.8	7.7	7.1
	高萩北【n=59】	81.4	50.8	27.1	13.6	13.6	5.1	6.8	11.9

		民生委員・児童委員	社会福祉協議会	SNS	福祉サービス事業者	学校や保育所・幼稚園など	障がい者相談支援センター	自立相談支援センター	地域子育て支援センター
性別	男性【n=293】	4.8	3.1	3.1	2.0	2.0	1.7	0.7	0.7
	女性【n=314】	1.3	2.5	1.6	2.2	2.2	1.6	1.6	1.0
	その他【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	0.0	0.0	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4
	30歳代【n=44】	2.3	0.0	13.6	0.0	9.1	2.3	0.0	6.8
	40歳代【n=66】	3.0	0.0	3.0	4.5	6.1	1.5	1.5	1.5
	50歳代【n=107】	0.9	1.9	2.8	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
	60歳代【n=127】	0.0	0.8	0.0	1.6	0.8	2.4	1.6	0.0
	70歳代【n=172】	4.7	3.5	0.6	2.3	0.0	1.2	1.2	0.0
	80歳代【n=73】	9.6	9.6	0.0	4.1	0.0	4.1	2.7	0.0
	90歳以上【n=12】	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗【n=60】	6.7	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	1.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=94】	2.1	3.2	1.1	5.3	0.0	1.1	0.0	1.1
	高麗川【n=205】	2.9	3.4	1.5	2.0	3.4	2.0	1.5	1.5
	高根【n=47】	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0
	高萩【n=182】	3.3	2.2	4.4	1.6	1.1	2.2	1.1	0.5
	高萩北【n=59】	3.4	1.7	5.1	3.4	3.4	1.7	0.0	0.0

		福祉ボランティアやNPO	誰に相談したらよいか分からない	その他	誰にも相談しない	無回答
性別	男性【n=293】	1.0	4.8	1.4	11.6	1.7
	女性【n=314】	0.6	5.1	1.0	2.9	2.2
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0
	30歳代【n=44】	0.0	6.8	0.0	6.8	0.0
	40歳代【n=66】	1.5	1.5	0.0	7.6	0.0
	50歳代【n=107】	0.9	2.8	1.9	8.4	4.7
	60歳代【n=127】	0.0	7.9	0.8	11.0	1.6
	70歳代【n=172】	0.0	6.4	1.2	4.1	4.1
	80歳代【n=73】	4.1	6.8	1.4	4.1	1.4
	90歳以上【n=12】	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
居住地区	高麗【n=60】	0.0	1.7	1.7	3.3	3.3
	武蔵台・横手台【n=94】	0.0	3.2	1.1	4.3	4.3
	高麗川【n=205】	1.0	9.3	2.0	8.3	2.0
	高根【n=47】	2.1	8.5	2.1	6.4	0.0
	高萩【n=182】	1.1	3.3	0.0	9.3	1.6
	高萩北【n=59】	0.0	0.0	1.7	5.1	3.4

問 11 日常生活を送る上で手助けしてほしい（行ってほしい）と思うことがありますか。

（○はいくつでも）

～「急病などの緊急時の手助け」が2割、「特にない」が4割超～

日常生活を送る上で必要な手助けは、「急病などの緊急時の手助け」が22.2%で最も多く、以下、「気軽に行ける自由な居場所づくり」が16.1%、「通院、買い物などの外出の手伝い」が11.9%、「日常的な話し相手・困ったときの相談相手」が8.2%などとなっています。また、「特にない」は45.8%でした。

年齢別で「急病などの緊急時の手助け」をみると、80歳代、90歳以上の割合が多くなっています。また、同様の傾向が「通院、買い物などの外出の手伝い」でもみられます。

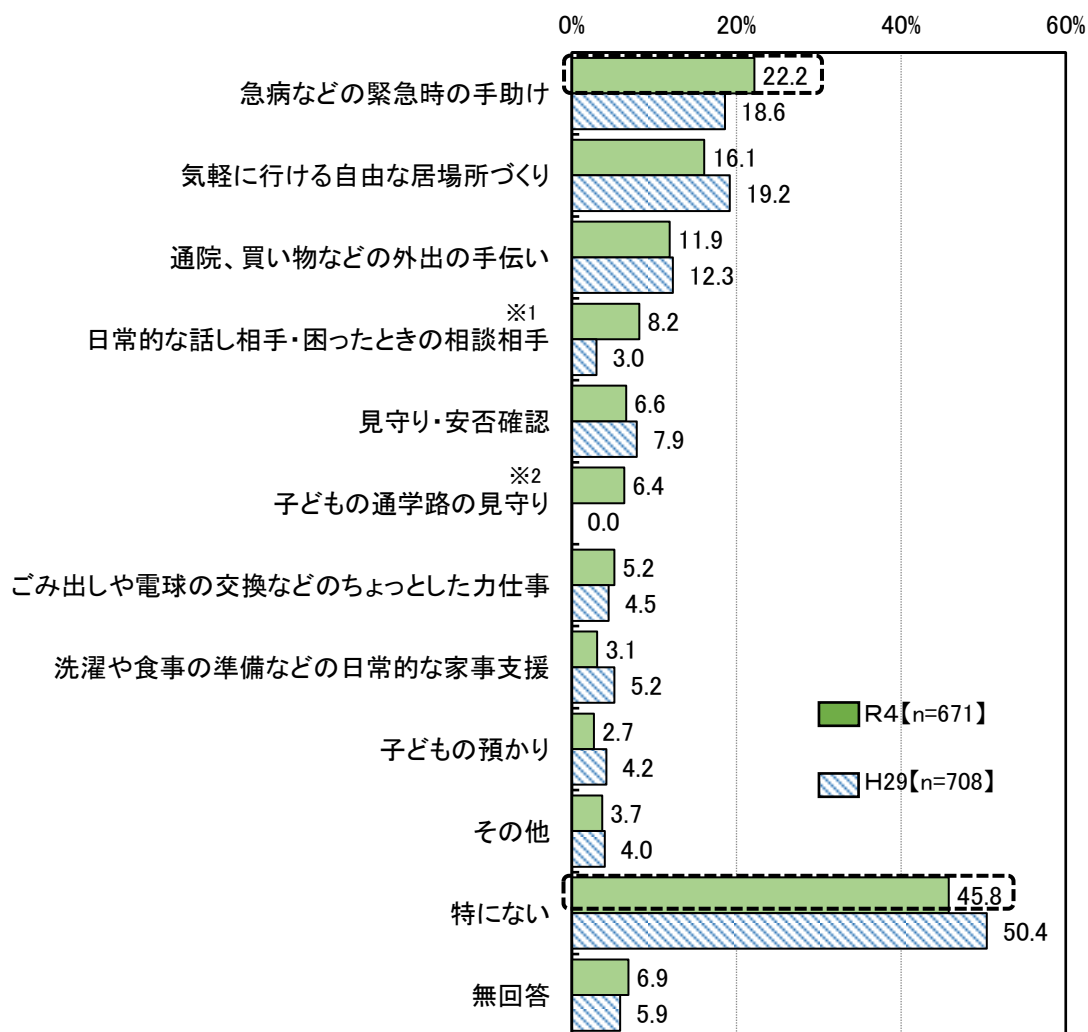
居住地区別で「気軽に行ける自由な居場所づくり」をみると、「高麗」の割合がほかの居住地区より多い傾向がみられました。

平成29年調査との経年比較では、「急病などの緊急時の手助け」の割合が増え、「気軽に行ける自由な居場所づくり」の割合が減っています。

【その他】

草むしり、庭木の手入れ／介護／防犯、夜間のパトロール／ など

【日常生活を送る上で必要な手助け】



※1 「日常会話の相手」から変更項目

※2 新規追加項目

		急病などの緊急時の手助け	気軽に行ける自由な居場所づくり	通院、買い物などの外出の手伝い	日常的な話し相手・困ったときの相談相手	見守り・安否確認	子どもの通学路の見守り	ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事	洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
性別	男性【n=293】	19.1	16.7	9.2	7.8	6.5	6.1	3.1	3.8
	女性【n=314】	24.8	15.0	11.8	8.3	6.1	7.3	7.0	2.9
	その他【n=2】	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	20.7	17.2	0.0	10.3	3.4	10.3	6.9	3.4
	30歳代【n=44】	25.0	25.0	6.8	9.1	2.3	34.1	2.3	4.5
	40歳代【n=66】	25.8	18.2	10.6	7.6	12.1	21.2	6.1	3.0
	50歳代【n=107】	20.6	8.4	9.3	5.6	5.6	6.5	2.8	5.6
	60歳代【n=127】	14.2	15.0	4.7	7.1	1.6	0.0	3.1	0.8
	70歳代【n=172】	21.5	14.5	11.0	7.6	5.2	1.7	3.5	0.6
	80歳代【n=73】	32.9	17.8	31.5	13.7	13.7	1.4	16.4	8.2
	90歳以上【n=12】	41.7	8.3	41.7	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3
居住地区	高麗【n=60】	25.0	21.7	11.7	8.3	10.0	5.0	8.3	6.7
	武蔵台・横手台【n=94】	23.4	16.0	14.9	9.6	7.4	6.4	2.1	2.1
	高麗川【n=205】	21.5	17.1	11.2	6.3	6.3	7.3	6.3	2.9
	高根【n=47】	31.9	17.0	12.8	12.8	6.4	2.1	6.4	2.1
	高萩【n=182】	22.0	13.2	12.1	7.7	6.6	6.6	6.6	3.8
	高萩北【n=59】	16.9	13.6	6.8	11.9	1.7	10.2	0.0	1.7

		子どもの預かり	その他	特にない	無回答
性別	男性【n=293】	2.7	2.4	53.2	6.5
	女性【n=314】	2.9	4.5	41.4	7.0
	その他【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	3.4	0.0	55.2	0.0
	30歳代【n=44】	18.2	0.0	34.1	4.5
	40歳代【n=66】	10.6	1.5	36.4	1.5
	50歳代【n=107】	0.9	5.6	54.2	6.5
	60歳代【n=127】	0.0	4.7	62.2	2.4
	70歳代【n=172】	0.0	4.7	50.0	8.7
	80歳代【n=73】	1.4	1.4	21.9	17.8
	90歳以上【n=12】	0.0	0.0	25.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	1.7	3.3	38.3	6.7
	武蔵台・横手台【n=94】	2.1	5.3	45.7	6.4
	高麗川【n=205】	3.4	2.9	45.4	7.8
	高根【n=47】	0.0	4.3	40.4	6.4
	高萩【n=182】	3.8	2.7	49.5	6.0
	高萩北【n=59】	1.7	5.1	47.5	5.1

問 12 高齢者や障がいのある人、子育てをしている人などが必要な支援を受けることができるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

～「様々な相談先の情報提供」と

「様々な相談を一本化した総合相談窓口」がそれぞれ4割弱～

高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なことは、「様々な相談先の情報提供」が39.8%で最も多く、以下、「様々な相談を一本化した総合相談窓口」が37.6%、「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」が34.3%、「何でも相談ができる地域住民による相談窓口」が32.0%、「福祉サービス事業者や従事者の質の向上」が23.2%などとなっています。

年齢別で「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」をみると、30歳代、90歳以上の割合が多くなっています。また、「様々な相談を一本化した総合相談窓口」をみると、多くの年齢階級で3割台となっている中、60歳代と20歳代の割合が多くなっています。

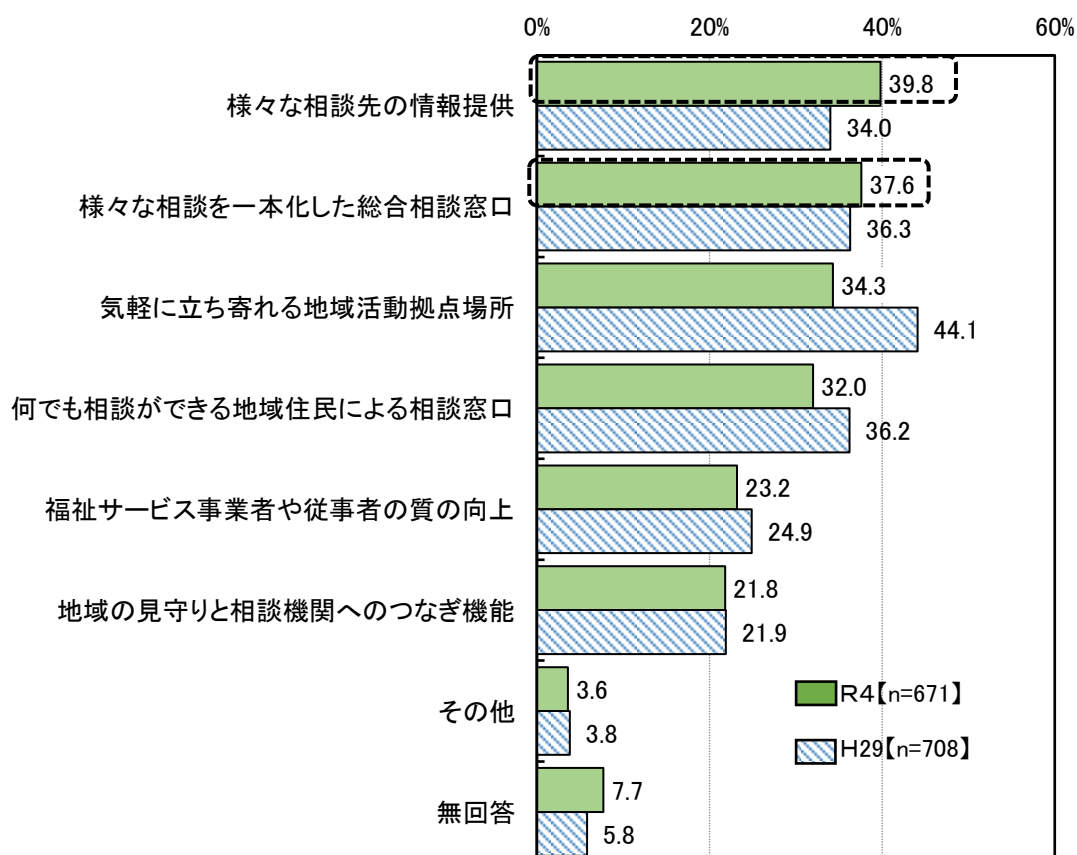
居住地区別で「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」をみると、多くの居住地区で3割台の中、「高麗」の割合は4割後半と多い傾向がみられます。

平成29年調査との経年比較では、平成29年調査の上位項目「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」と「何でも相談ができる地域住民による相談窓口」の割合は減り、「様々な相談先の情報提供」と「様々な相談を一本化した総合相談窓口」の割合は増えています。

【その他】

訪問形式の支援／生活に必要な日用品などの宅配サービス など

【高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なこと】



		様々な相談先の情報提供	様々な相談を一本化した総合相談窓口	気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所	何でも相談ができる地域住民による相談窓口	福祉サービス事業者や従事者の質の向上	地域の見守りと相談機関へのつなぎ機能	その他	無回答
性別	男性【n=293】	38.6	34.8	32.1	34.1	20.5	21.2	4.1	7.2
	女性【n=314】	42.4	40.1	38.5	29.9	26.1	23.6	3.5	6.7
	その他【n=2】	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	41.4	41.4	31.0	37.9	34.5	41.4	0.0	0.0
	30歳代【n=44】	36.4	31.8	45.5	27.3	22.7	27.3	9.1	2.3
	40歳代【n=66】	48.5	33.3	33.3	36.4	27.3	24.2	6.1	4.5
	50歳代【n=107】	42.1	36.4	32.7	32.7	24.3	26.2	2.8	5.6
	60歳代【n=127】	44.1	44.9	34.6	28.3	20.5	19.7	4.7	3.9
	70歳代【n=172】	37.8	37.8	33.7	29.1	24.4	18.0	2.3	9.9
	80歳代【n=73】	27.4	32.9	28.8	42.5	15.1	16.4	2.7	21.9
	90歳以上【n=12】	16.7	16.7	41.7	25.0	33.3	25.0	0.0	8.3
居住地区	高麗【n=60】	41.7	43.3	46.7	28.3	26.7	21.7	1.7	6.7
	武蔵台・横手台【n=94】	38.3	29.8	35.1	33.0	24.5	22.3	4.3	9.6
	高麗川【n=205】	39.5	35.1	32.7	30.7	22.9	19.0	3.4	7.3
	高根【n=47】	44.7	53.2	38.3	42.6	21.3	25.5	6.4	6.4
	高萩【n=182】	41.2	36.8	33.0	31.9	23.6	23.1	3.3	6.6
	高萩北【n=59】	33.9	42.4	30.5	33.9	22.0	22.0	1.7	10.2

問 13 健康や福祉に関する情報で役に立っているものは何ですか。(〇はいくつでも)
 ~日高市の広報紙・ホームページ」が5割超、「テレビ、新聞、書籍からの情報」は4割~

健康や福祉に関する情報で役に立っているものは、「日高市の広報紙・ホームページ」が55.9%で最も多く、以下、「テレビ、新聞、書籍からの情報」が43.8%、「家族や友人・知人などからの情報」が36.4%、「インターネットからの情報」が32.8%、「社会福祉協議会の広報紙・ホームページ」「SNSからの情報」がともに8.6%などとなっています。

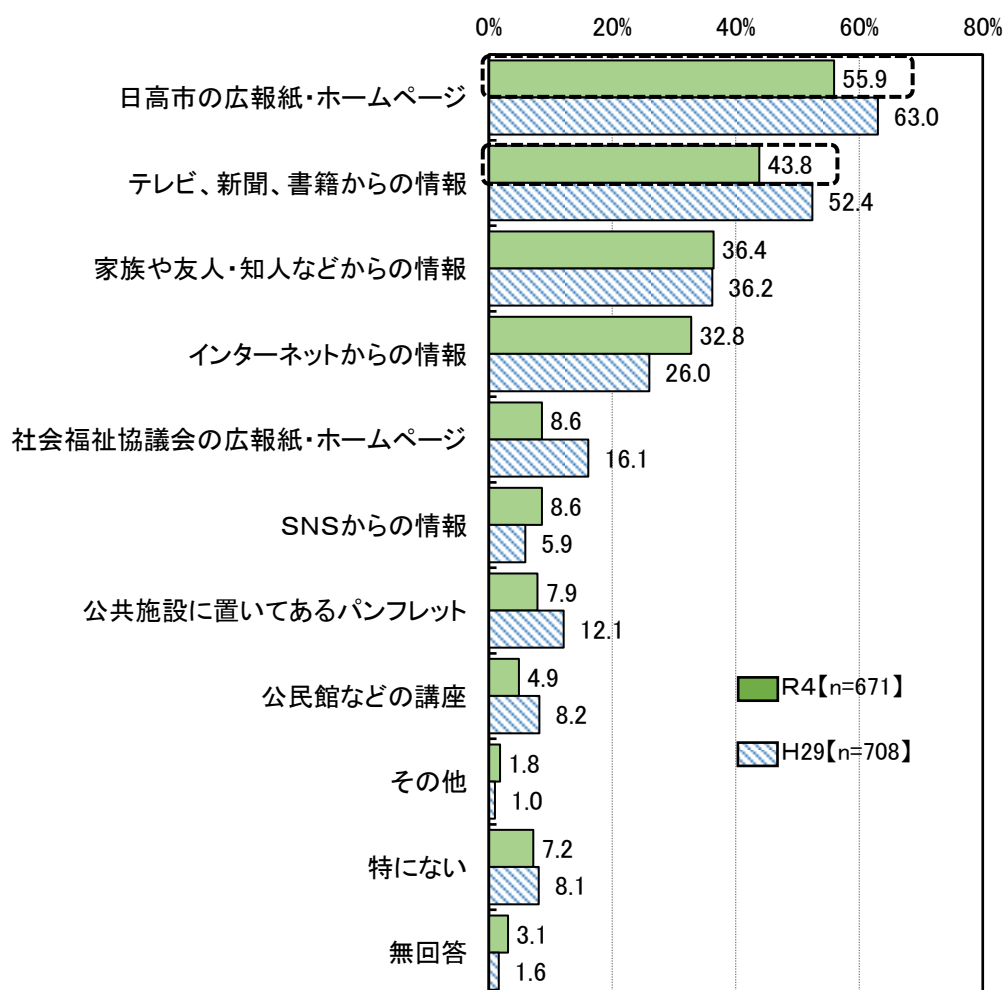
年齢別で「インターネットからの情報」をみると、20歳代から50歳代にかけて割合が多い傾向がみられます。また、「テレビ、新聞、書籍からの情報」では、70歳代、80歳代の割合がほかの年齢階級より多くなっています。

平成29年調査との経年比較では、上位項目の順位に変化は見られませんが、「日高市の広報紙・ホームページ」と「テレビ、新聞、書籍からの情報」の割合は減り、「インターネットからの情報」の割合が増えています。

【その他】

学校連絡システムからのメール／職場／病院からの情報 など

【健康や福祉に関する情報で役に立っているもの】



		日高市の 広報紙・ ホーム ページ	テレビ、 新聞、書 籍からの 情報	家族や友 人・知人 などから の情報	インター ネットから の情報	社会福祉 協議会の 広報紙・ ホーム ページ	SNSから の情報	公共施設 に置いて あるパン フレット	公民館な どの講座
性別	男性【n=293】	53.9	39.6	32.8	36.9	8.5	8.5	6.5	2.4
	女性【n=314】	59.2	44.9	39.5	31.8	9.2	8.9	8.9	7.0
	その他【n=2】	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	41.4	31.0	31.0	62.1	3.4	27.6	3.4	0.0
	30歳代【n=44】	52.3	22.7	25.0	59.1	4.5	34.1	13.6	0.0
	40歳代【n=66】	60.6	30.3	36.4	51.5	3.0	21.2	9.1	1.5
	50歳代【n=107】	52.3	41.1	31.8	46.7	7.5	8.4	2.8	0.9
	60歳代【n=127】	60.6	37.0	31.5	33.1	9.4	3.9	11.0	3.9
	70歳代【n=172】	59.3	54.1	41.9	22.7	11.6	2.3	7.6	7.6
	80歳代【n=73】	60.3	57.5	47.9	2.7	16.4	0.0	8.2	13.7
	90歳以上【n=12】	50.0	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
居住 地区	高麗【n=60】	55.0	48.3	46.7	23.3	5.0	10.0	6.7	5.0
	武蔵台・横手台【n=94】	59.6	48.9	42.6	33.0	9.6	6.4	7.4	7.4
	高麗川【n=205】	54.6	42.0	32.7	30.7	9.8	8.8	8.8	3.9
	高根【n=47】	63.8	48.9	29.8	42.6	12.8	4.3	19.1	6.4
	高萩【n=182】	56.6	35.7	33.0	32.4	9.3	8.2	4.9	5.5
	高萩北【n=59】	52.5	54.2	45.8	42.4	5.1	15.3	3.4	1.7

		その他	特にない	無回答
性別	男性【n=293】	1.4	9.2	3.4
	女性【n=314】	1.6	4.1	2.9
	その他【n=2】	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	0.0	6.9	0.0
	30歳代【n=44】	0.0	13.6	0.0
	40歳代【n=66】	3.0	3.0	1.5
	50歳代【n=107】	0.9	6.5	4.7
	60歳代【n=127】	0.8	11.0	1.6
	70歳代【n=172】	2.3	4.7	3.5
	80歳代【n=73】	1.4	4.1	8.2
	90歳以上【n=12】	8.3	8.3	0.0
居住 地区	高麗【n=60】	1.7	6.7	1.7
	武蔵台・横手台【n=94】	3.2	3.2	4.3
	高麗川【n=205】	1.5	8.8	4.9
	高根【n=47】	0.0	4.3	0.0
	高萩【n=182】	1.1	8.8	2.7
	高萩北【n=59】	1.7	6.8	0.0

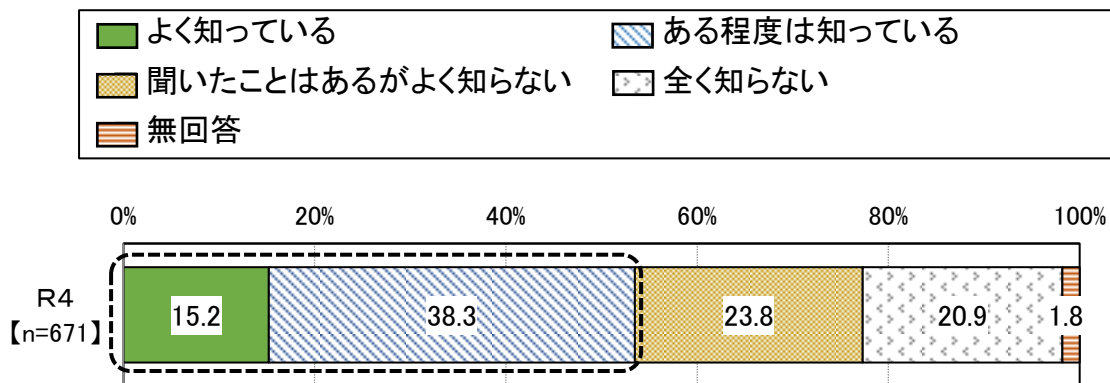
問 14 「ケアラー」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)
 ~「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計は5割超~

「ケアラー」という言葉の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「ある程度は知っている」の合計）は53.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が23.8%、「全く知らない」が20.9%となっています。

年齢別で『知っている』をみると、50歳代が最も多く、90歳以上では該当がいませんでした。

居住地区別で『知っている』をみると、どの居住地区でも5割以上となっています。

【「ケアラー」という言葉を知っているか】



		よく知っ ている	ある程 度は知 っている	聞いたこ とはあ るがよ く知ら ない	全く知ら ない	無回答
性別	男性【n=293】	15.0	36.2	22.2	25.6	1.0
	女性【n=314】	15.6	40.1	26.8	15.0	2.5
	その他【n=2】	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	10.3	27.6	34.5	27.6	0.0
	30歳代【n=44】	11.4	36.4	22.7	29.5	0.0
	40歳代【n=66】	10.6	45.5	21.2	22.7	0.0
	50歳代【n=107】	19.6	43.9	12.1	20.6	3.7
	60歳代【n=127】	11.8	40.2	29.1	17.3	1.6
	70歳代【n=172】	20.9	38.4	24.4	14.0	2.3
	80歳代【n=73】	12.3	31.5	28.8	26.0	1.4
	90歳以上【n=12】	0.0	0.0	33.3	58.3	8.3
	居住 地区	高麗【n=60】	20.0	41.7	16.7	20.0
武蔵台・横手台【n=94】		19.1	34.0	26.6	17.0	3.2
高麗川【n=205】		10.2	40.0	29.3	19.0	1.5
高根【n=47】		25.5	34.0	19.1	19.1	2.1
高萩【n=182】		15.9	39.6	22.0	20.3	2.2
高萩北【n=59】		11.9	40.7	18.6	28.8	0.0

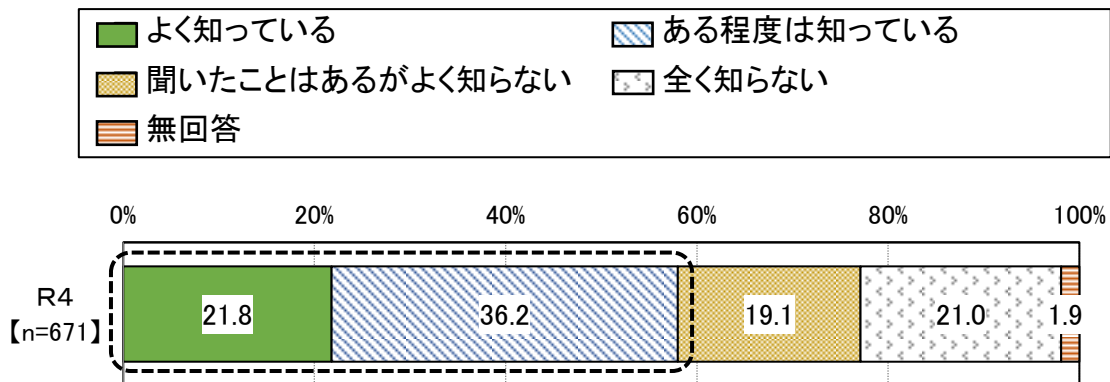
問 15 「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)
 ～「よく知っている」と「ある程度は知っている」の合計は約6割～

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「ある程度は知っている」の合計）は58.0%、「聞いたことはあるがよく知らない」が19.1%、「全く知らない」が21.0%となっています。

年齢別で『知っている』をみると、80歳代、90歳以上の割合は少ない傾向がみられます。

居住地区別で『知っている』をみると、すべての居住地区で5割以上となり、このうち半数の居住地区で6割台となっています。

【「ヤングケアラー」という言葉を知っているか】



		よく知っ ている	ある程 度は知 っている	聞いたこ とはあ るがよ く知ら ない	全く知ら ない	無回答
性別	男性【n=293】	20.8	32.8	19.1	25.9	1.4
	女性【n=314】	24.2	37.3	20.7	15.3	2.5
	その他【n=2】	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	6.9	44.8	24.1	24.1	0.0
	30歳代【n=44】	20.5	34.1	20.5	25.0	0.0
	40歳代【n=66】	22.7	43.9	12.1	21.2	0.0
	50歳代【n=107】	28.0	41.1	8.4	18.7	3.7
	60歳代【n=127】	13.4	40.9	25.2	18.1	2.4
	70歳代【n=172】	31.4	32.6	19.8	14.0	2.3
	80歳代【n=73】	17.8	21.9	27.4	30.1	2.7
	90歳以上【n=12】	0.0	8.3	25.0	66.7	0.0
居住 地区	高麗【n=60】	28.3	35.0	13.3	20.0	3.3
	武蔵台・横手台【n=94】	25.5	34.0	19.1	18.1	3.2
	高麗川【n=205】	16.6	34.6	24.4	22.0	2.4
	高根【n=47】	25.5	36.2	19.1	19.1	0.0
	高萩【n=182】	23.1	41.8	14.3	19.2	1.6
	高萩北【n=59】	22.0	35.6	18.6	23.7	0.0

地域福祉を進めるための取り組みについて

問 16 あなたと福祉との関わりは、次のどれに当てはまりますか。(〇はいくつでも)

～「いずれの活動もしていない」が6割弱、

「自治会、住民自治組織などの活動をしている」が1割超～

福祉との関わり方は、「いずれの活動もしていない」が58.4%で最も多く、以下、「自治会、住民自治組織などの活動をしている」が13.3%、「福祉の仕事をしている」が5.7%、「ボランティアやNPO活動をしている」が4.8%、「地域の防犯・防災活動をしている」が3.3%などとなっています。

年齢別で「いずれの活動もしていない」をみると、20歳代から50歳代にかけて多い傾向がみられ、60歳代から80歳代では割合が少ない傾向がみられました。

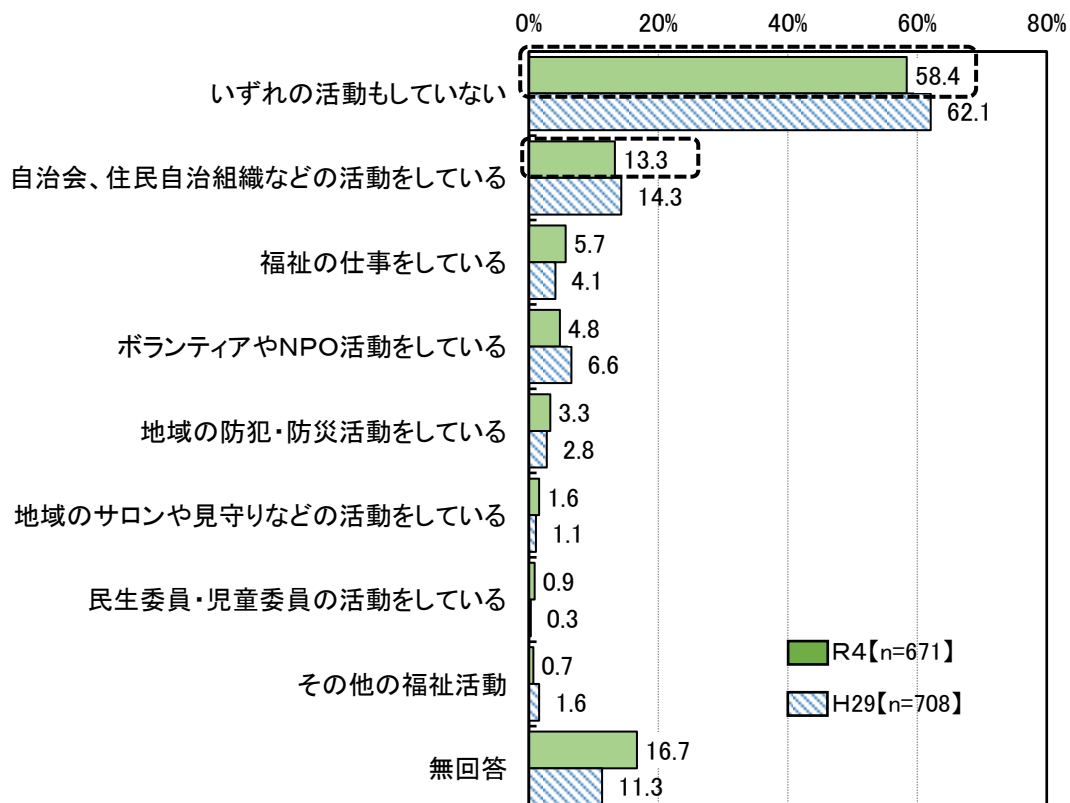
居住地区別で「地域の防犯・防災活動をしている」をみると、該当のない居住地区がある中、高麗の割合はほかの居住地区よりも多くなっています。

平成29年調査との経年比較では、「いずれの活動もしていない」や「自治会、住民自治組織などの活動をしている」の割合が減っています。

【その他】

過去に赤十字奉仕団、社会福祉協議会、コミュニティ協議会の役員を経験 など

【福祉との関わり方について】



		いずれの活動もしていない	自治会、住民自治組織などの活動をしている	福祉の仕事をしている	ボランティアやNPO活動をしている	地域の防犯・防災活動をしている	地域のサロンや見守りなどの活動をしている	民生委員・児童委員の活動をしている	その他の福祉活動
性別	男性【n=293】	59.4	16.7	4.1	4.8	5.1	2.4	1.4	0.7
	女性【n=314】	57.6	10.5	8.0	5.4	1.9	1.3	0.6	1.0
	その他【n=2】	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	82.8	0.0	10.3	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代【n=44】	79.5	9.1	9.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
	40歳代【n=66】	62.1	16.7	10.6	6.1	6.1	1.5	0.0	0.0
	50歳代【n=107】	66.4	15.0	9.3	2.8	1.9	0.0	0.0	0.0
	60歳代【n=127】	56.7	18.1	7.1	3.1	6.3	1.6	0.8	0.0
	70歳代【n=172】	47.7	14.5	1.2	8.7	2.3	4.1	2.9	2.9
	80歳代【n=73】	43.8	8.2	2.7	5.5	2.7	1.4	0.0	0.0
	90歳以上【n=12】	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗【n=60】	50.0	13.3	1.7	5.0	11.7	0.0	3.3	1.7
	武蔵台・横手台【n=94】	62.8	12.8	4.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	高麗川【n=205】	52.2	14.6	7.3	4.4	2.9	2.0	0.5	2.0
	高根【n=47】	53.2	12.8	8.5	6.4	4.3	4.3	2.1	0.0
	高萩【n=182】	63.2	13.2	6.6	5.5	2.7	2.7	0.5	0.0
	高萩北【n=59】	66.1	10.2	3.4	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0

		無回答
性別	男性【n=293】	13.0
	女性【n=314】	17.8
	その他【n=2】	50.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0
	20歳代【n=29】	0.0
	30歳代【n=44】	2.3
	40歳代【n=66】	9.1
	50歳代【n=107】	7.5
	60歳代【n=127】	11.8
	70歳代【n=172】	23.3
	80歳代【n=73】	39.7
	90歳以上【n=12】	25.0
居住地区	高麗【n=60】	23.3
	武蔵台・横手台【n=94】	17.0
	高麗川【n=205】	19.5
	高根【n=47】	17.0
	高萩【n=182】	11.5
	高萩北【n=59】	15.3

【「2. 民生委員・児童委員の活動をしている」～「7. その他の福祉活動」を選んだ方】

付問1 活動するきっかけはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

～「持ち回りの当番制となっているから」が5割弱、

「地域をより住みやすくしたいから」が4割弱～

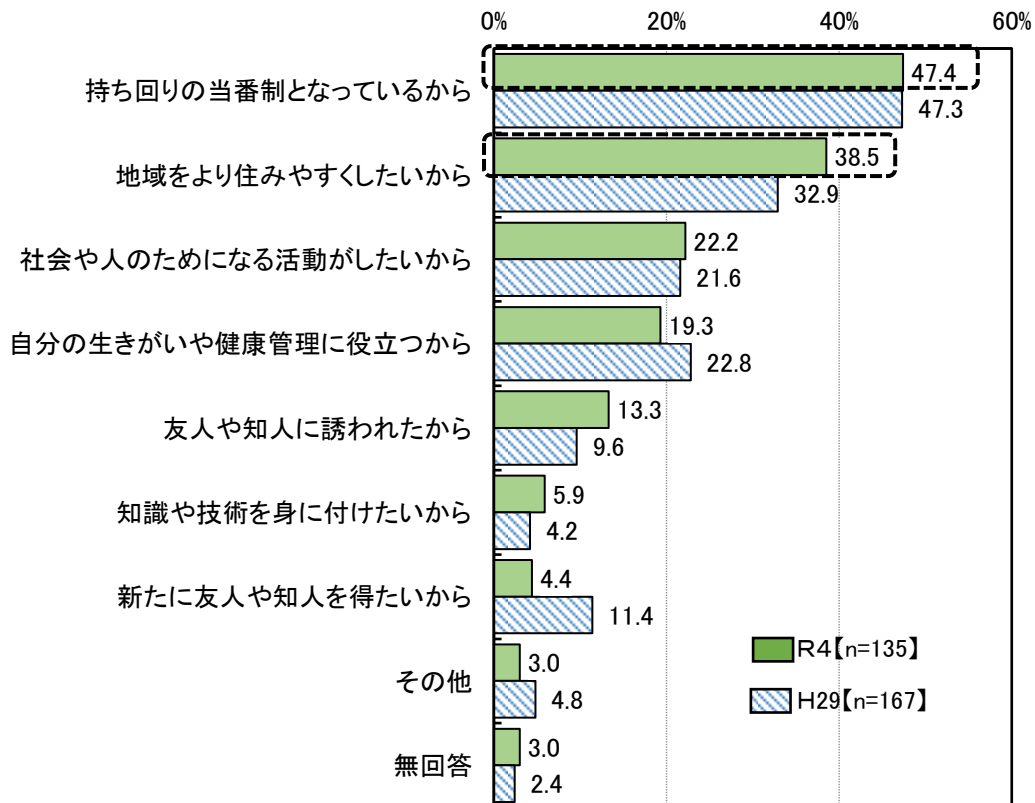
福祉活動をする理由は、「持ち回りの当番制となっているから」が47.4%で最も多く、以下、「地域をより住みやすくしたいから」が38.5%、「社会や人のためになる活動がしたいから」が22.2%、「自分の生きがいや健康管理に役立つから」が19.3%、「友人や知人に誘われたから」が13.3%などとなっています。

平成29年調査との経年比較では、「地域をより住みやすくしたいから」の割合が5.6ポイント増えています。また、次点の「社会や人のためになる活動がしたいから」の割合も微増しています。

【その他】

自治会活動を積極的にするようになったから／区の役員をしていることから など

【福祉活動をする理由】



【「8. いずれの活動もしていない」を選んだ方】

付問2 地域で活動していない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

～「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が4割～

福祉活動をしていない理由は、「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が42.3%で最も多く、以下、「健康に自信がない」が20.9%、「活動する上での人間関係がわずらわしい」が16.3%、「活動する情報がない・少ない」が14.8%、「活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない」が12.8%などとなっています。

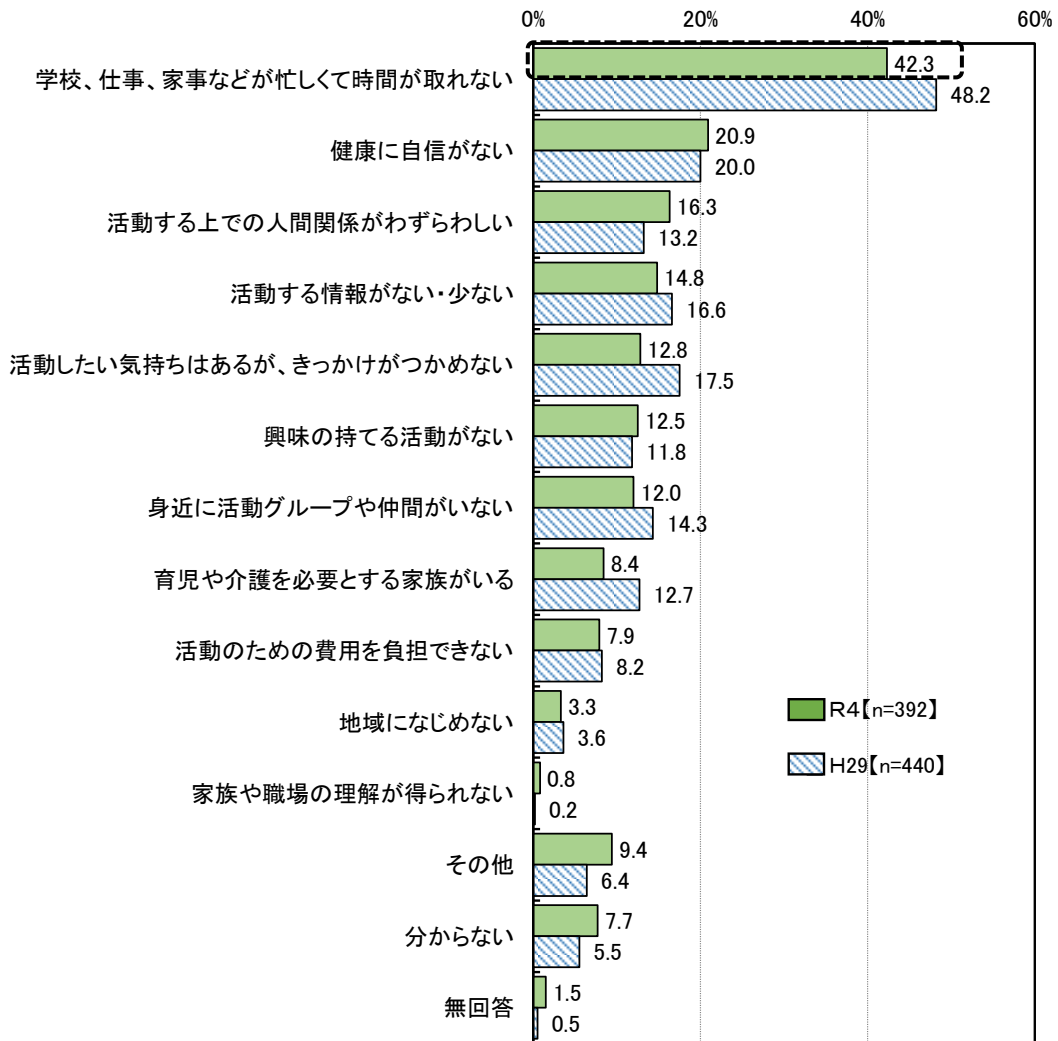
平成29年調査との経年比較では、「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」の割合が5.9ポイント減っています。

また、「健康に自信がない」が微増、「活動する上での人間関係がわずらわしい」が3.1ポイント増加しています。

【その他】

高齢のため／既存のグループが出来上っており、新人の入る余地がない／自分の生活だけで精一杯 など

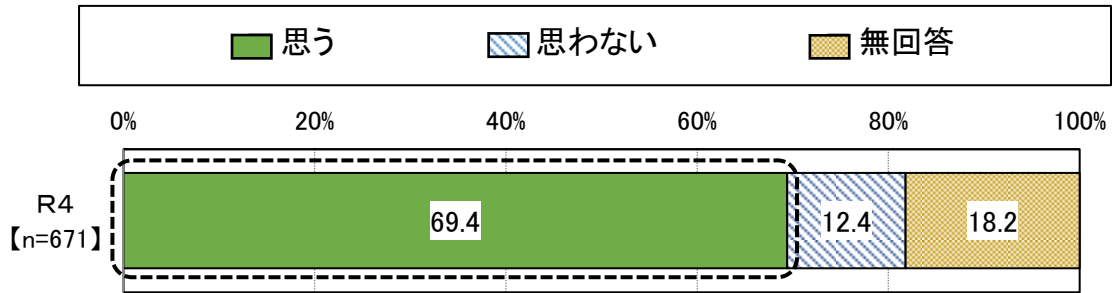
【福祉活動をしていない理由】



問 17 あなたは、身近な地域での住民同士の支え合いは必要だと思いますか。(○は1つ)
 ～「思う」が約7割～

身近な地域での住民同士の支え合いの必要性について、「思う」が69.4%、「思わない」が12.4%となっています。

【身近な地域での住民同士の支え合いは必要か】



		思う	思わない	無回答
性別	男性【n=293】	71.0	12.6	16.4
	女性【n=314】	72.0	11.1	16.9
	その他【n=2】	0.0	0.0	100.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	72.4	27.6	0.0
	30歳代【n=44】	68.2	27.3	4.5
	40歳代【n=66】	77.3	10.6	12.1
	50歳代【n=107】	77.6	15.9	6.5
	60歳代【n=127】	78.0	8.7	13.4
	70歳代【n=172】	59.9	12.2	27.9
	80歳代【n=73】	63.0	1.4	35.6
	90歳以上【n=12】	58.3	8.3	33.3
居住地	高麗【n=60】	71.7	8.3	20.0
	武蔵台・横手台【n=94】	68.1	5.3	26.6
	高麗川【n=205】	65.4	17.1	17.6
	高根【n=47】	78.7	6.4	14.9
	高萩【n=182】	72.5	13.7	13.7
	高萩北【n=59】	69.5	10.2	20.3

【「1. 思う」を選んだ方】

付問1 身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は5つまで)

～「住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり」が6割超～

身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために必要なことでは、「住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり」が65.2%で最も多く、以下、「地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実」が36.3%、「地域の支え合い、助け合い活動の意義・重要性の普及啓発」が35.2%、「地域での相談支援体制の充実」が30.9%、「住民同士の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」が22.3%などとなっています。

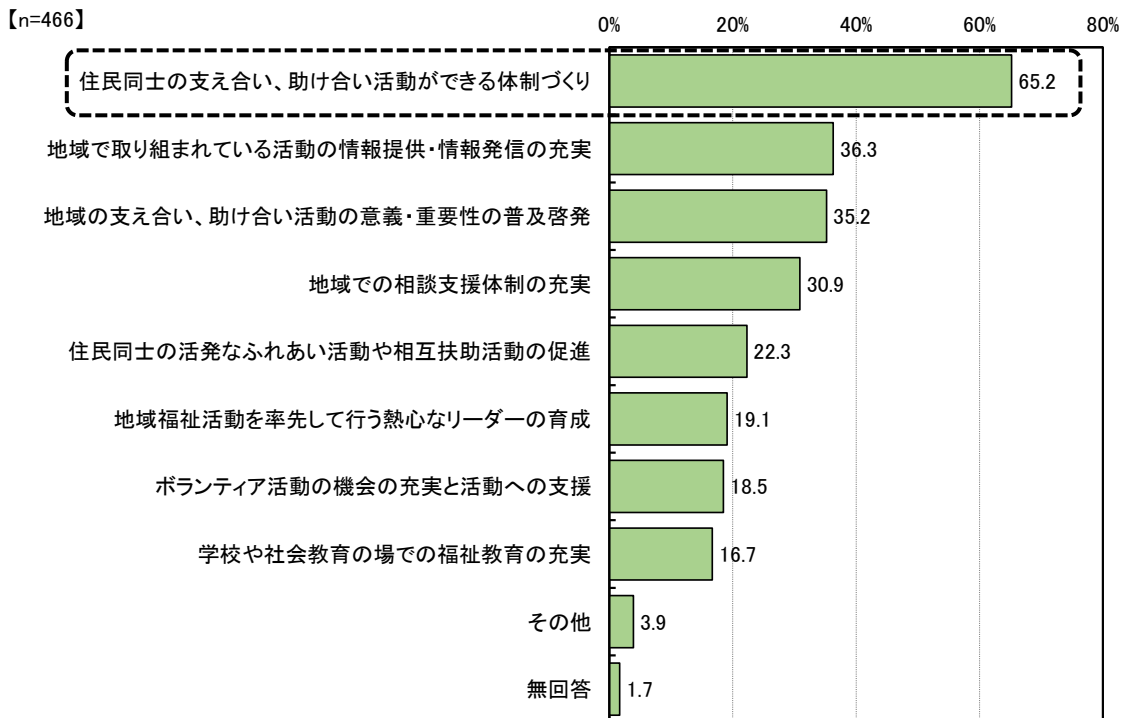
年齢別で「地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実」をみると、多くの年齢階級で3割以上となっていますが、80歳代、90歳以上では割合が少ない傾向がみられました。また、「地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成」では、80歳代と40歳代の割合がほかの年齢階級より多くなっています。

居住地区別で「地域での相談支援体制の充実」をみると、「高萩北」が41.5%とほかの居住地区よりも多い傾向がみられました。

【その他】

日常の会話、あいさつ など

【身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために必要なこと】



		住民同士の 支え合い、助け 合い活動が できる体制 づくり	地域で取 り組まれ ている活 動の情報 提供・情 報発信の 充実	地域の支 え合い、 助け合い 活動の意 義・重要 性の普及 啓発	地域での 相談支援 体制の充 実	住民同士の 活発な ふれあい 活動や相 互扶助活 動の促進	地域福祉 活動を率 先して行 う熱心な リーダー の育成	ボランティ ア活動の 機会の充 実と活動 への支援	学校や社 会教育の 場での福 祉教育の 充実
性別	男性【n=208】	63.5	35.6	43.3	29.8	24.5	21.6	18.8	13.5
	女性【n=226】	66.4	37.2	27.0	32.3	19.5	15.9	17.7	19.9
	その他【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	100.0
	20歳代【n=21】	76.2	33.3	33.3	28.6	9.5	19.0	23.8	19.0
	30歳代【n=30】	46.7	33.3	30.0	36.7	20.0	10.0	23.3	43.3
	40歳代【n=51】	64.7	37.3	27.5	39.2	31.4	21.6	23.5	27.5
	50歳代【n=83】	60.2	36.1	37.3	30.1	15.7	15.7	12.0	19.3
	60歳代【n=99】	62.6	40.4	35.4	26.3	24.2	18.2	14.1	10.1
	70歳代【n=103】	70.9	36.9	39.8	30.1	25.2	17.5	22.3	7.8
	80歳代【n=46】	69.6	26.1	34.8	39.1	21.7	34.8	21.7	10.9
	90歳以上【n=7】	71.4	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	28.6
居住地区	高麗【n=43】	69.8	37.2	37.2	30.2	23.3	23.3	18.6	16.3
	武蔵台・横手台【n=64】	64.1	42.2	31.3	28.1	25.0	14.1	23.4	12.5
	高麗川【n=134】	63.4	38.1	32.8	29.9	17.2	20.9	15.7	14.2
	高根【n=37】	70.3	43.2	45.9	37.8	27.0	27.0	16.2	16.2
	高萩【n=132】	65.9	31.1	36.4	28.8	23.5	17.4	20.5	19.7
	高萩北【n=41】	58.5	39.0	39.0	41.5	17.1	14.6	14.6	22.0

		その他	無回答
性別	男性【n=208】	3.8	1.0
	女性【n=226】	3.1	2.2
	その他【n=0】	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0
	20歳代【n=21】	4.8	0.0
	30歳代【n=30】	3.3	3.3
	40歳代【n=51】	2.0	0.0
	50歳代【n=83】	2.4	0.0
	60歳代【n=99】	4.0	1.0
	70歳代【n=103】	4.9	1.9
	80歳代【n=46】	2.2	6.5
	90歳以上【n=7】	0.0	0.0
居住地区	高麗【n=43】	2.3	0.0
	武蔵台・横手台【n=64】	6.3	0.0
	高麗川【n=134】	3.7	2.2
	高根【n=37】	8.1	0.0
	高萩【n=132】	3.0	2.3
	高萩北【n=41】	0.0	0.0

付問2 あなたが手助けできると思う地域での支え合い活動は何ですか。

(○はいくつでも)

～「見守り・安否確認」が4割、「日常的な話し相手・困ったときの相談相手」が2割超～

手助けできると思う地域での支え合い活動は、「見守り・安否確認」が42.7%で最も多く、以下、「日常的な話し相手・困ったときの相談相手」が26.0%、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」と「子どもの通学路の見守り」が同率の25.1%、「通院、買い物などの外出の手伝い」が20.8%、「急病などの緊急時の手助け」が18.7%などとなっています。

年齢別で「子どもの通学路の見守り」をみると、30歳代、40歳代の割合がほかの年齢階級より多くなっています。

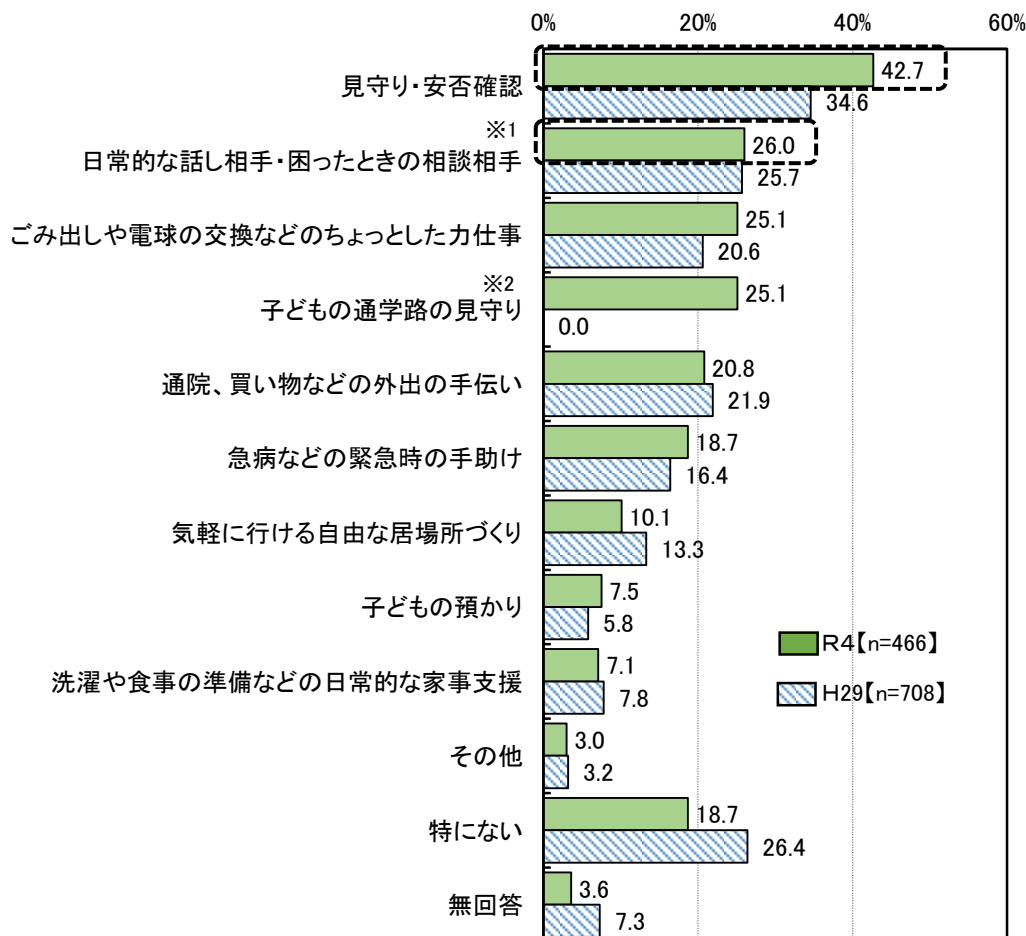
居住地区別で「見守り・安否確認」をみると、「高麗」をはじめ、「高麗川」、「高萩」で多い傾向がみられますが、「高根」、「武蔵台・横手台」、「高萩北」の割合は少ないなど二極化している様相がみられました。

平成29年調査との経年比較では、「見守り・安否確認」の割合が8.1ポイント、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」の割合が4.5ポイントそれぞれ増えています。

【その他】

教育関係のボランティア活動 など

【手助けできると思う地域での支え合い活動】



※1 「日常会話の相手」から変更項目

※2 新規追加項目

		見守り・安否確認	日常的な話し相手・困ったときの相談相手	ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事	子どもの通学路の見守り	通院、買い物などの外出の手伝い	急病などの緊急時の手助け	気軽に行ける自由な居場所づくり	子どもの預かり
性別	男性【n=208】	42.3	22.6	36.5	25.0	20.7	22.1	11.1	5.8
	女性【n=226】	43.8	28.3	13.7	25.2	21.2	15.0	8.4	9.3
	その他【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0
	20歳代【n=21】	42.9	23.8	28.6	28.6	14.3	28.6	4.8	14.3
	30歳代【n=30】	46.7	33.3	30.0	46.7	26.7	20.0	6.7	23.3
	40歳代【n=51】	39.2	31.4	17.6	31.4	23.5	15.7	7.8	7.8
	50歳代【n=83】	48.2	25.3	27.7	20.5	25.3	24.1	6.0	9.6
	60歳代【n=99】	44.4	17.2	25.3	27.3	19.2	12.1	13.1	3.0
	70歳代【n=103】	47.6	30.1	31.1	23.3	24.3	23.3	10.7	5.8
	80歳代【n=46】	26.1	26.1	13.0	10.9	13.0	15.2	8.7	4.3
	90歳以上【n=7】	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗【n=43】	62.8	30.2	20.9	34.9	18.6	27.9	11.6	11.6
	武蔵台・横手台【n=64】	32.8	28.1	32.8	26.6	23.4	14.1	9.4	7.8
	高麗川【n=134】	45.5	27.6	24.6	20.9	16.4	14.9	8.2	7.5
	高根【n=37】	29.7	24.3	35.1	16.2	24.3	32.4	5.4	2.7
	高萩【n=132】	43.9	28.8	20.5	27.3	25.0	22.0	11.4	8.3
	高萩北【n=41】	36.6	12.2	24.4	31.7	22.0	9.8	12.2	7.3

		洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援	その他	特になし	無回答
性別	男性【n=208】	6.3	2.4	17.8	1.9
	女性【n=226】	8.4	3.5	19.0	5.3
	その他【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=21】	9.5	4.8	4.8	0.0
	30歳代【n=30】	10.0	3.3	10.0	0.0
	40歳代【n=51】	11.8	0.0	23.5	0.0
	50歳代【n=83】	7.2	1.2	9.6	1.2
	60歳代【n=99】	5.1	2.0	20.2	3.0
	70歳代【n=103】	5.8	1.9	17.5	6.8
	80歳代【n=46】	4.3	13.0	30.4	8.7
	90歳以上【n=7】	0.0	0.0	71.4	14.3
居住地区	高麗【n=43】	9.3	0.0	11.6	7.0
	武蔵台・横手台【n=64】	4.7	4.7	21.9	1.6
	高麗川【n=134】	6.0	3.7	18.7	3.0
	高根【n=37】	10.8	8.1	18.9	2.7
	高萩【n=132】	8.3	0.8	17.4	4.5
	高萩北【n=41】	7.3	2.4	22.0	0.0

付問3 地域での支え合い活動をより活発にしていく上で必要な条件はどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

～「自宅に近い場所で活動できること」、「好きなときに活動できること」、

「活動時間がそれほど長くないこと」が約6割～

地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件では、「自宅に近い場所で活動できること」が60.9%で最も多く、以下、「好きなときに活動できること」が58.6%、「活動時間がそれほど長くないこと」が57.3%、「お金がかからないこと」が43.6%、「くわしい知識や高度な技術を必要としないこと」が34.5%などとなっています。

また、4.3%が「特に条件となるものはない」と回答しています。

年齢別で「同世代の人が多いこと」をみると、20歳代から40歳代にかけて割合が多くなる傾向がみられます。また、「子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること」でも20歳代から40歳代の割合が多くなっています。

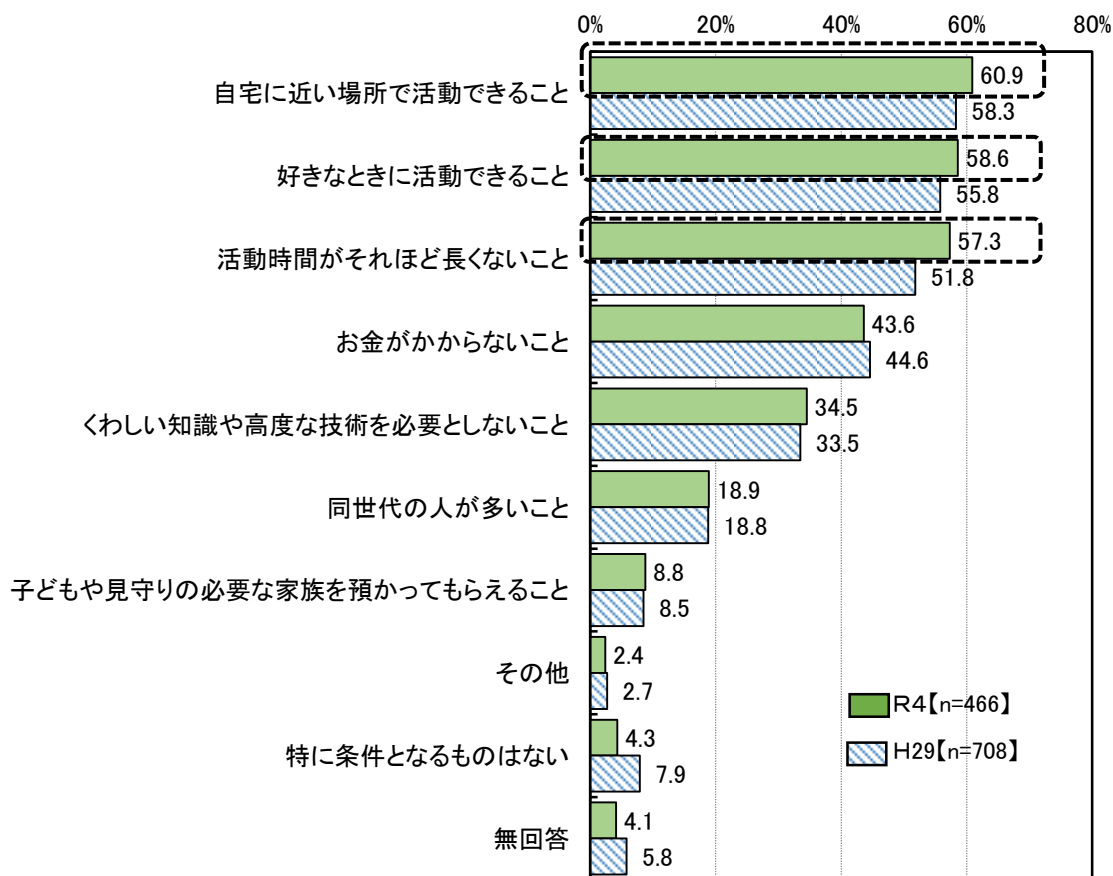
居住地区別で「活動時間がそれほど長くないこと」をみると、どの居住地区でも5割以上となっている中、「武蔵台・横手台」の割合がほかの居住地区より多くなっています。

平成29年調査との経年比較では、上位3項目の全てにおいて割合が増えています。

【その他】

楽しい活動であること など

【地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件】



		自宅に近い場所で活動できること	好きなときに活動できること	活動時間がそれほど長くないこと	お金がかからないこと	くわしい知識や高度な技術を必要としないこと	同世代の人が多いこと	子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること	その他
性別	男性【n=208】	60.6	60.1	55.8	45.2	37.5	16.8	6.3	2.4
	女性【n=226】	61.9	56.6	58.0	42.5	30.5	21.2	11.5	2.7
	その他【n=0】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=21】	57.1	76.2	47.6	52.4	42.9	38.1	28.6	4.8
	30歳代【n=30】	73.3	66.7	70.0	53.3	33.3	33.3	23.3	0.0
	40歳代【n=51】	70.6	66.7	72.5	37.3	23.5	23.5	17.6	2.0
	50歳代【n=83】	54.2	69.9	51.8	36.1	16.9	18.1	9.6	2.4
	60歳代【n=99】	62.6	59.6	60.6	52.5	41.4	15.2	2.0	1.0
	70歳代【n=103】	63.1	46.6	62.1	41.7	46.6	15.5	4.9	1.9
	80歳代【n=46】	56.5	37.0	30.4	43.5	28.3	13.0	4.3	6.5
	90歳以上【n=7】	28.6	28.6	42.9	28.6	28.6	42.9	0.0	14.3
居住地区	高麗【n=43】	74.4	62.8	58.1	48.8	34.9	18.6	4.7	0.0
	武蔵台・横手台【n=64】	64.1	62.5	64.1	37.5	34.4	21.9	7.8	3.1
	高麗川【n=134】	62.7	56.7	59.7	41.8	38.1	20.9	11.2	1.5
	高根【n=37】	62.2	54.1	56.8	40.5	32.4	16.2	10.8	8.1
	高萩【n=132】	54.5	59.1	50.8	47.7	31.1	18.9	9.1	3.0
	高萩北【n=41】	63.4	61.0	58.5	36.6	31.7	14.6	7.3	0.0

		特に条件となるものはない	無回答
性別	男性【n=208】	5.3	2.4
	女性【n=226】	3.5	4.9
	その他【n=0】	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	0.0
	20歳代【n=21】	0.0	0.0
	30歳代【n=30】	3.3	0.0
	40歳代【n=51】	2.0	0.0
	50歳代【n=83】	2.4	1.2
	60歳代【n=99】	6.1	2.0
	70歳代【n=103】	3.9	7.8
	80歳代【n=46】	8.7	13.0
	90歳以上【n=7】	14.3	0.0
居住地区	高麗【n=43】	7.0	2.3
	武蔵台・横手台【n=64】	6.3	3.1
	高麗川【n=134】	1.5	4.5
	高根【n=37】	5.4	5.4
	高萩【n=132】	4.5	4.5
	高萩北【n=41】	7.3	2.4

問 18 あなたの身の回りで起こる福祉の課題に対して、あなたはどのように思いますか。

(それぞれ当てはまるものに○)

～「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、

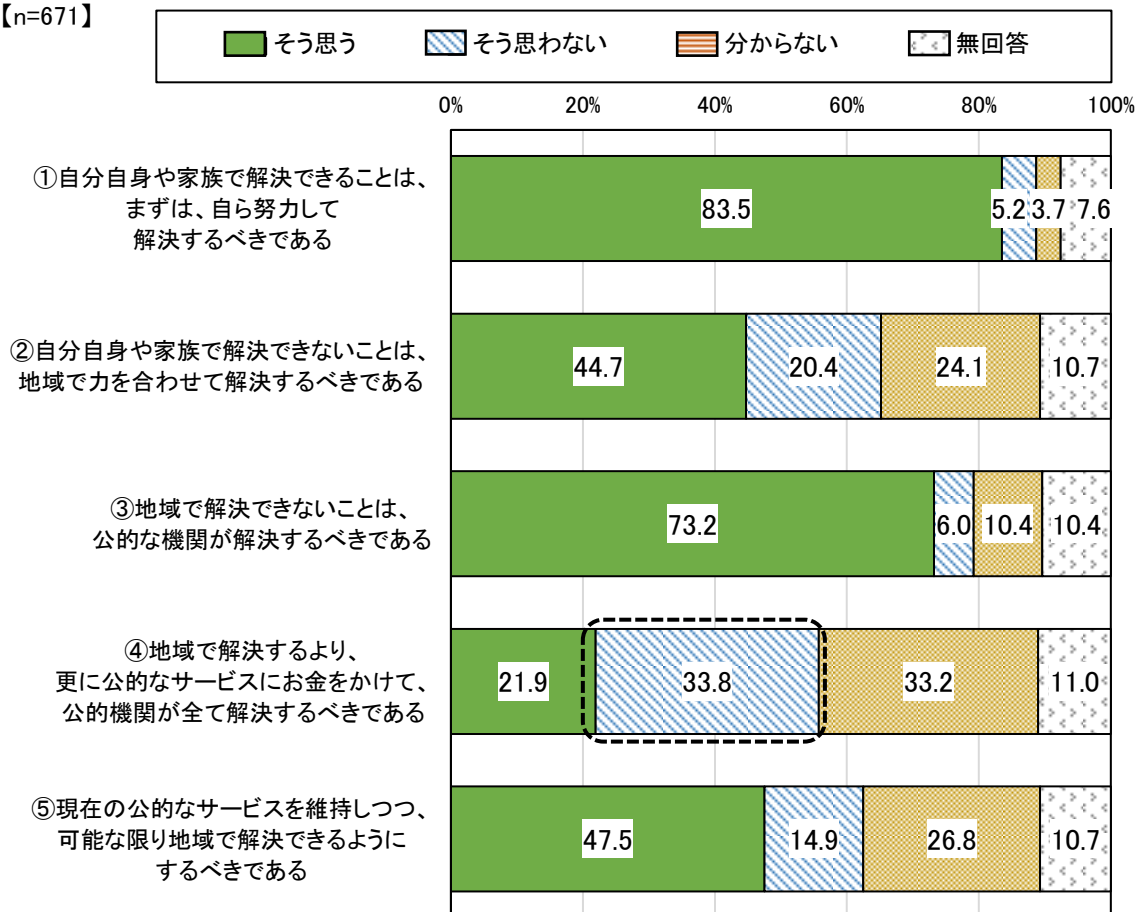
公的機関が全て解決するべきである」は「そう思わない」が3割超～

身の回りで起こる福祉の課題についてどのように思うかは、「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである」については「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。

そのほかの設問では「そう思う」が「そう思わない」を上回っていますが、「②自分自身や家族で解決できないことは、地域で力を合わせて解決するべきである」、「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである」、「⑤現在の公的なサービスを維持しつつ、可能な限り地域で解決できるようにするべきである」については「わからない」の割合が多い傾向がみられます。

【身の回りで起こる福祉の課題についてどのように思うか】

【n=671】



①自分自身や家族で解決できることは、まずは、自ら努力して解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	84.3	5.1	4.4	6.1
	女性【n=314】	82.8	5.7	3.5	8.0
	その他【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	79.3	6.9	6.9	6.9
	30歳代【n=44】	86.4	2.3	6.8	4.5
	40歳代【n=66】	86.4	6.1	3.0	4.5
	50歳代【n=107】	76.6	11.2	6.5	5.6
	60歳代【n=127】	86.6	7.9	0.8	4.7
	70歳代【n=172】	84.9	1.2	3.5	10.5
	80歳代【n=73】	86.3	4.1	1.4	8.2
	90歳以上【n=12】	58.3	0.0	8.3	33.3
居住地区	高麗【n=60】	83.3	1.7	5.0	10.0
	武蔵台・横手台【n=94】	83.0	3.2	3.2	10.6
	高麗川【n=205】	84.4	4.4	3.9	7.3
	高根【n=47】	76.6	10.6	4.3	8.5
	高萩【n=182】	83.0	7.1	3.8	6.0
	高萩北【n=59】	86.4	5.1	3.4	5.1

②自分自身や家族で解決できないことは、地域で力を合わせて解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	48.5	23.2	20.5	7.8
	女性【n=314】	42.4	18.5	26.4	12.7
	その他【n=2】	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	69.0	17.2	6.9	6.9
	30歳代【n=44】	40.9	29.5	25.0	4.5
	40歳代【n=66】	50.0	24.2	21.2	4.5
	50歳代【n=107】	50.5	18.7	24.3	6.5
	60歳代【n=127】	39.4	22.8	30.7	7.1
	70歳代【n=172】	39.5	20.3	25.0	15.1
	80歳代【n=73】	49.3	15.1	19.2	16.4
	90歳以上【n=12】	41.7	0.0	25.0	33.3
居住地区	高麗【n=60】	41.7	16.7	25.0	16.7
	武蔵台・横手台【n=94】	51.1	16.0	22.3	10.6
	高麗川【n=205】	41.0	22.4	23.9	12.7
	高根【n=47】	36.2	19.1	36.2	8.5
	高萩【n=182】	47.8	19.8	23.6	8.8
	高萩北【n=59】	49.2	25.4	18.6	6.8

③地域で解決できないことは、公的な機関が解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	75.1	8.2	8.5	8.2
	女性【n=314】	72.0	4.5	12.1	11.5
	その他【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	82.8	3.4	6.9	6.9
	30歳代【n=44】	79.5	6.8	9.1	4.5
	40歳代【n=66】	84.8	1.5	9.1	4.5
	50歳代【n=107】	67.3	7.5	17.8	7.5
	60歳代【n=127】	73.2	10.2	10.2	6.3
	70歳代【n=172】	71.5	5.8	9.3	13.4
	80歳代【n=73】	71.2	5.5	4.1	19.2
	90歳以上【n=12】	58.3	0.0	16.7	25.0
居住地区	高麗【n=60】	76.7	5.0	3.3	15.0
	武蔵台・横手台【n=94】	72.3	5.3	12.8	9.6
	高麗川【n=205】	75.1	5.4	8.3	11.2
	高根【n=47】	70.2	4.3	17.0	8.5
	高萩【n=182】	72.5	7.1	10.4	9.9
	高萩北【n=59】	67.8	6.8	16.9	8.5

- ④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決すべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	25.3	39.6	26.3	8.9
	女性【n=314】	17.8	30.9	38.9	12.4
	その他【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代【n=29】	17.2	44.8	31.0	6.9
	30歳代【n=44】	43.2	25.0	27.3	4.5
	40歳代【n=66】	19.7	42.4	33.3	4.5
	50歳代【n=107】	18.7	37.4	35.5	8.4
	60歳代【n=127】	22.0	36.2	34.6	7.1
	70歳代【n=172】	20.3	30.8	33.7	15.1
	80歳代【n=73】	17.8	37.0	26.0	19.2
	90歳以上【n=12】	16.7	16.7	33.3	33.3
居住地区	高麗【n=60】	20.0	36.7	25.0	18.3
	武蔵台・横手台【n=94】	23.4	24.5	41.5	10.6
	高麗川【n=205】	20.0	37.6	30.7	11.7
	高根【n=47】	29.8	25.5	31.9	12.8
	高萩【n=182】	23.6	30.8	36.8	8.8
	高萩北【n=59】	18.6	42.4	30.5	8.5

- ⑤現在の公的なサービスを維持しつつ、可能な限り地域で解決できるようにするべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性【n=293】	50.2	17.7	23.5	8.5
	女性【n=314】	44.3	12.4	31.2	12.1
	その他【n=2】	50.0	0.0	50.0	0.0
年齢	10歳代【n=2】	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代【n=29】	58.6	10.3	24.1	6.9
	30歳代【n=44】	34.1	22.7	38.6	4.5
	40歳代【n=66】	51.5	16.7	27.3	4.5
	50歳代【n=107】	47.7	19.6	24.3	8.4
	60歳代【n=127】	42.5	17.3	33.9	6.3
	70歳代【n=172】	46.5	11.6	26.2	15.7
	80歳代【n=73】	52.1	12.3	20.5	15.1
	90歳以上【n=12】	41.7	0.0	25.0	33.3
居住地区	高麗【n=60】	45.0	16.7	21.7	16.7
	武蔵台・横手台【n=94】	50.0	10.6	26.6	12.8
	高麗川【n=205】	50.2	13.2	26.3	10.2
	高根【n=47】	42.6	14.9	29.8	12.8
	高萩【n=182】	45.1	17.6	27.5	9.9
	高萩北【n=59】	40.7	18.6	33.9	6.8

(3) 調査結果に基づく分析 (クロス集計)

問 11 「日常生活を送る上で必要な手助け」と問 17 付問 2 「手助けできると思う地域での支え合い活動」のクロス集計

～「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」や

「子どもの預かり」が複数の項目で割合が多い傾向～

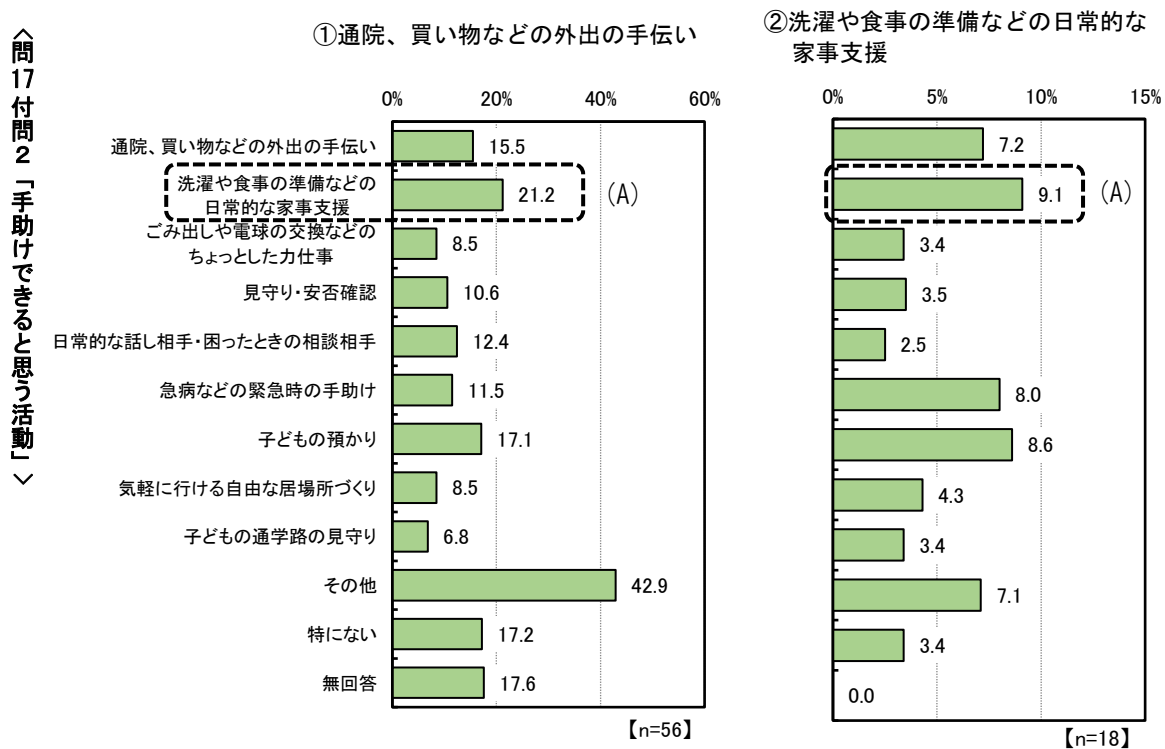
手助けできると思う地域での支え合い活動について、日常生活を送る上で必要な手助け別にみると、「②洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」や「⑦子どもの預かり」において、複数の項目で割合が多い傾向がみられます。(A)

「③ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」を必要としている人は、全体的に手助けできる活動内容の割合は少ない傾向がみられる中、「子どもの預かり」や「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」の割合が多くなっています。(B)

「⑥急病などの緊急時の手助け」を必要としている人は、全体的に手助けできる活動内容の割合は多い傾向にあり、「急病などの緊急時の手助け」、「日常的な話し相手・困った時の相談相手」、「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」などの割合は3割を超えています。(C)

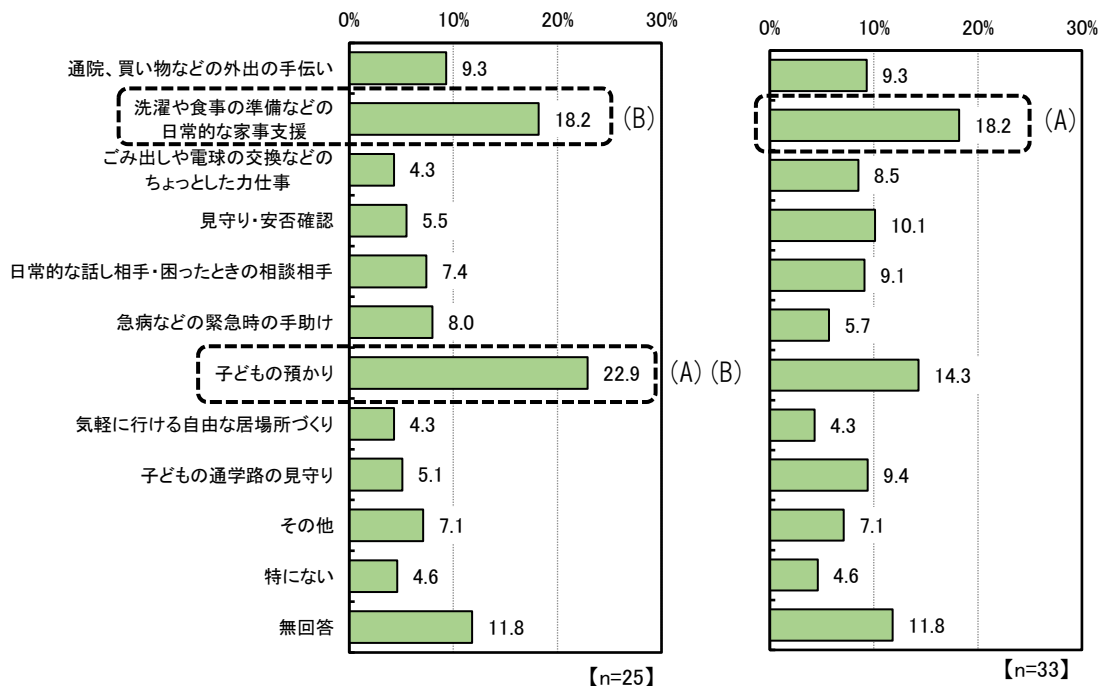
同様に、「⑩特にない」においてでも、全体的に手助けできる活動内容の割合は多い傾向がみられており、「子どもの通学路の見守り」、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」、「見守り・安否確認」、「通院、買い物などの外出の手伝い」では、割合がそれぞれ4割を超えています。(D)

〈問 11 「必要な手助け」〉



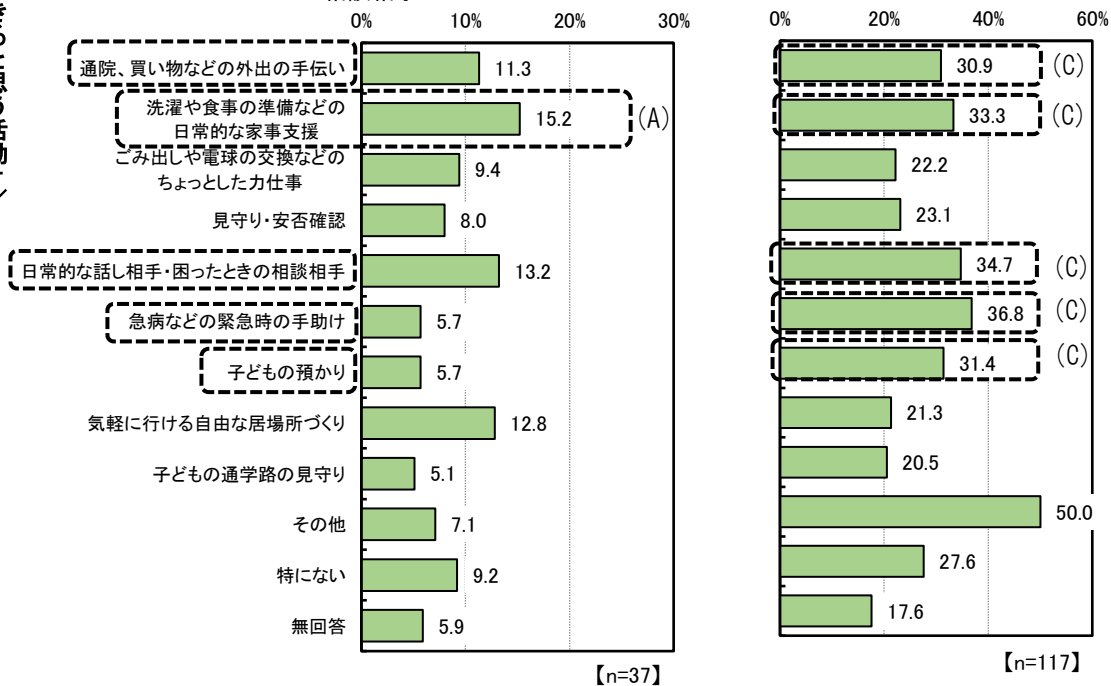
〈問 11 「必要な手助け」〉

③ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事 ④見守り・安否確認



⑤日常的な話し相手・困った時の相談相手

⑥急病などの緊急時の手助け

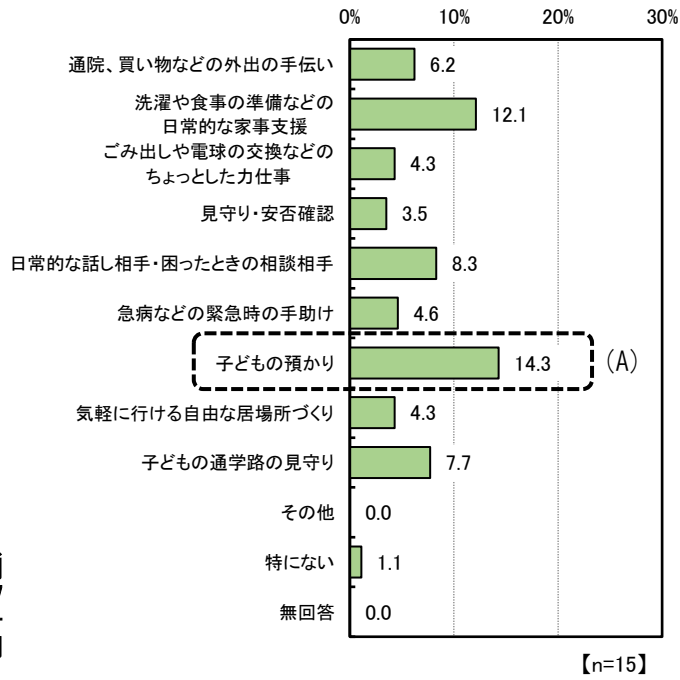


↑問 17 付問 2 「手助けできると思う活動」↓

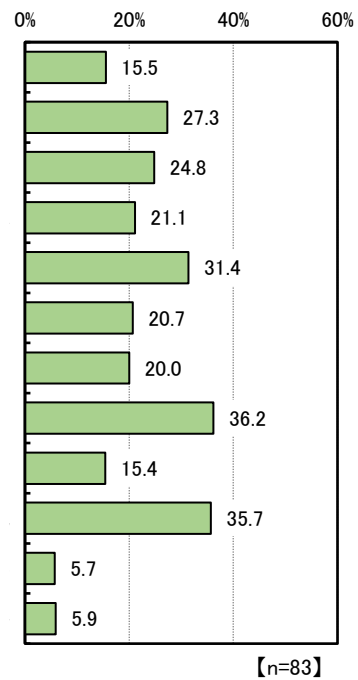
<問 11 「必要な手助け」>

「問 17 付問 2」手助けできると思う活動

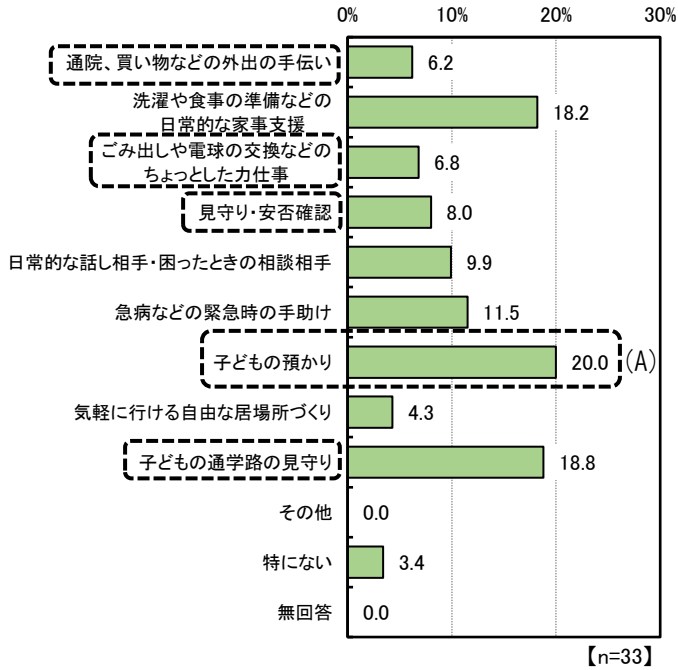
⑦子どもの預かり



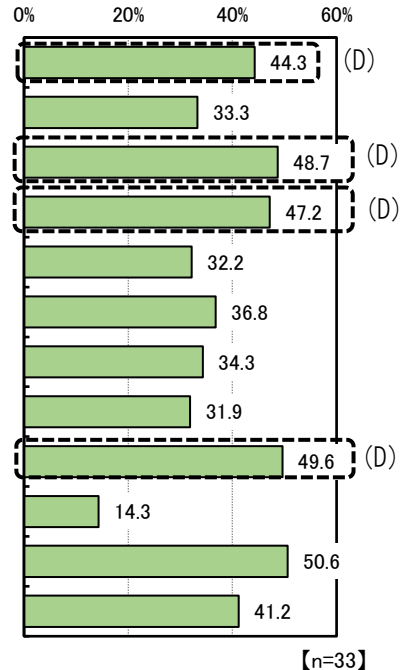
⑧気軽に行ける自由な居場所づくり



⑨子どもの通学路の見守り

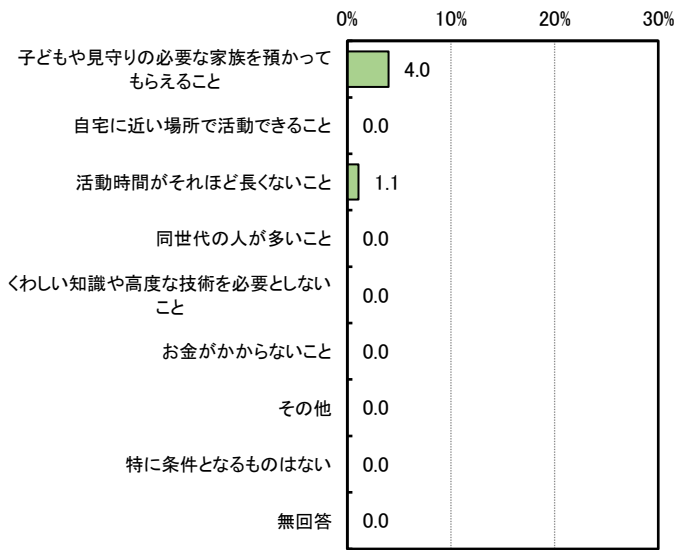


⑩特にない

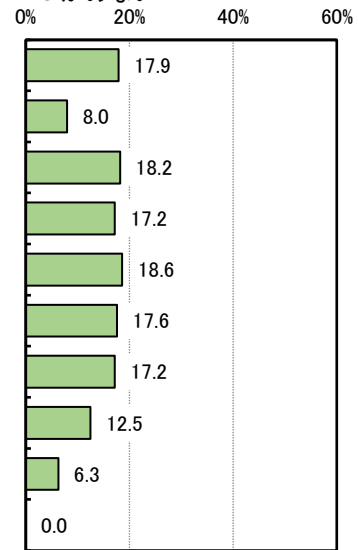


〈問 16 付問 2「福祉活動をしていない理由」〉

③家族や職場の理解が得られない

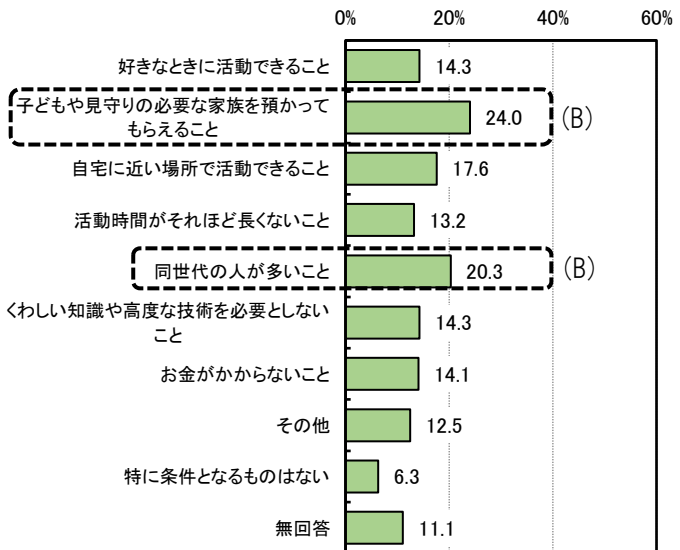


④活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない

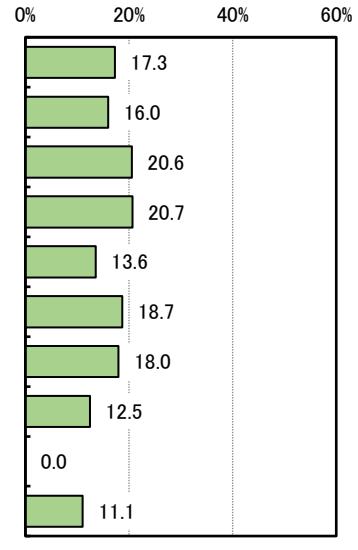


問 17 付問 3 「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」

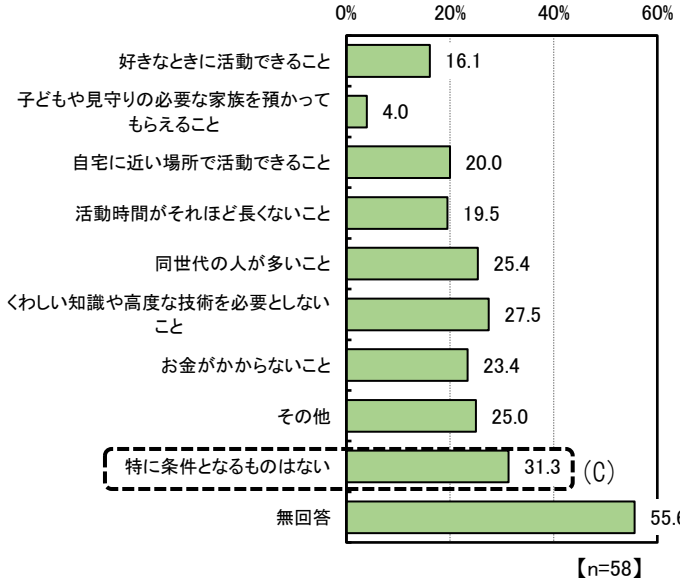
⑤身近に活動グループや仲間がない



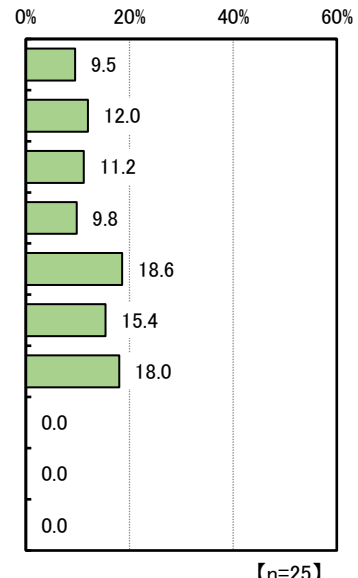
⑥活動する情報が少ない・少ない



⑦健康に自信がない

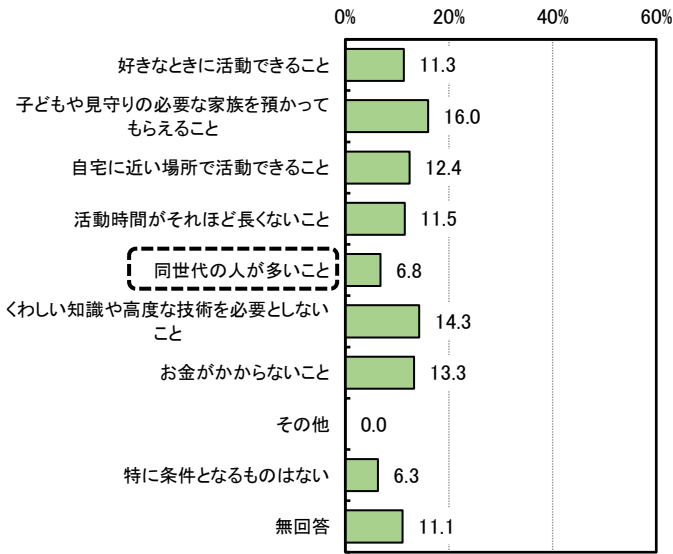


⑧活動のための費用を負担できない



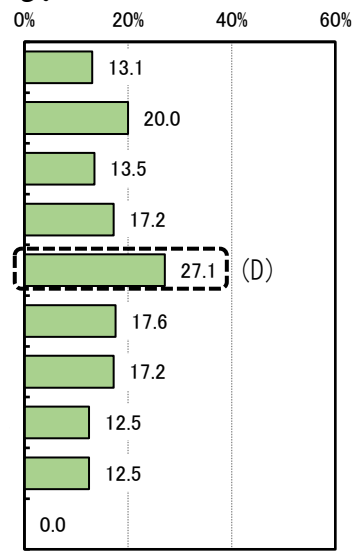
<問 16 付問 2「福祉活動をしていない理由」>

⑨興味の持てる活動がない



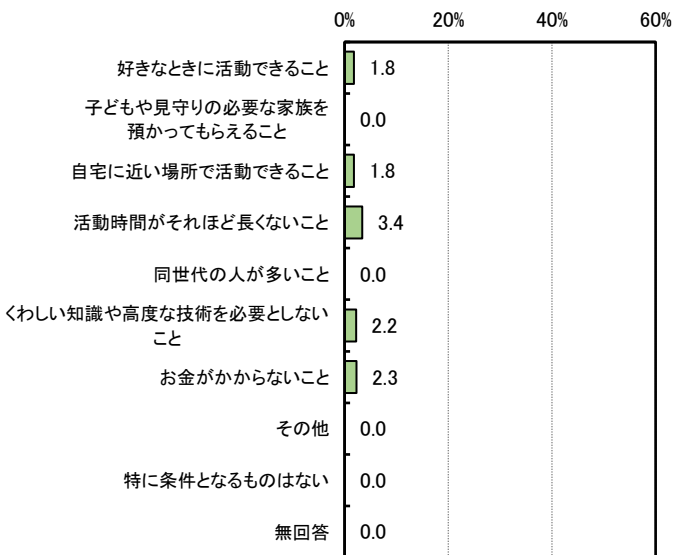
【n=29】

⑩活動する上での人間関係がわずらわしい



【n=41】

⑪地域になじめない



【n=6】

△問 17 付問 3「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」▽

問 16 「福祉との関わり方」と問 17 付問 1 「身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために必要なこと」とのクロス集計

～活動経験の有無により意識の差がみられる～

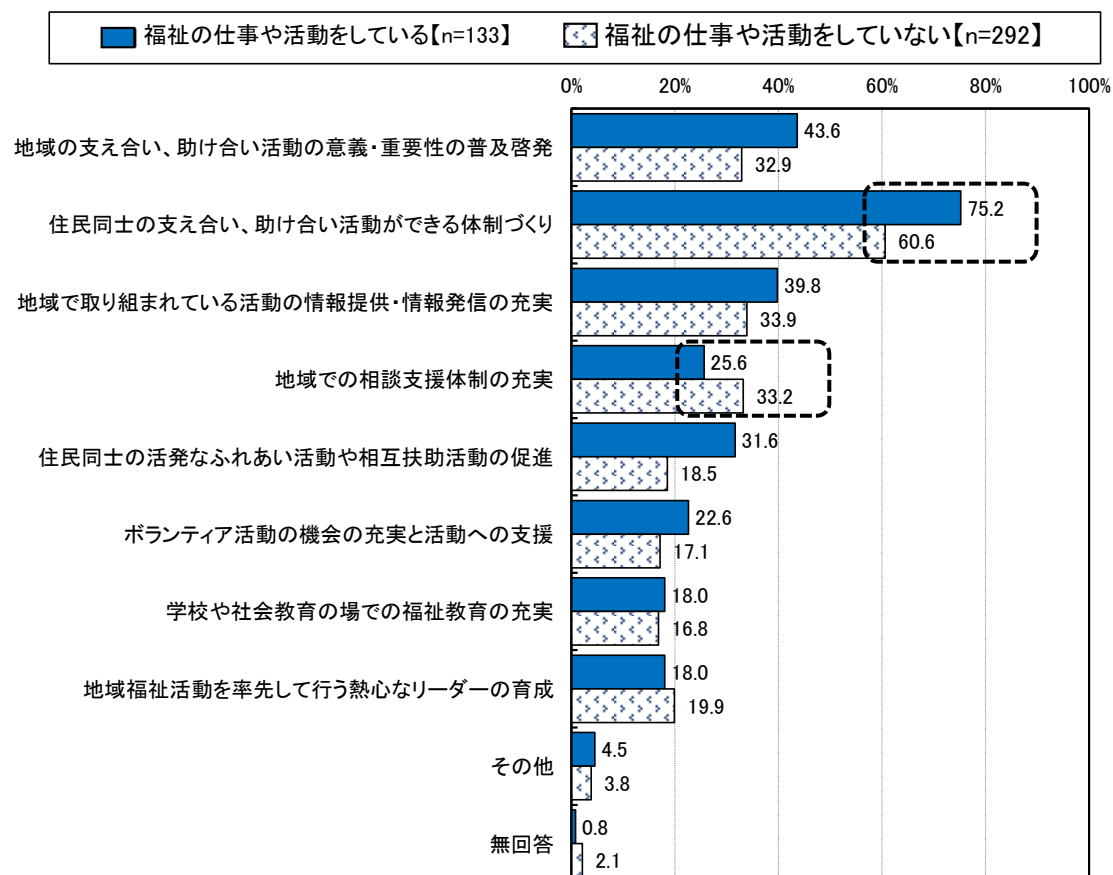
身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために必要なことについて、福祉との関わり方別にみると、どちらも「住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり」が最も多くなっていますが、次点以降は、「福祉の仕事や活動をしている」では、「地域の支え合い、助け合い活動の意義・重要性の普及啓発」、「地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実」、「住民同士の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」の順になっているのに対し、「福祉の仕事や活動をしていない」では、「地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実」、「地域での相談体制の充実」、「地域の支え合い、助け合い活動の意義・重要性の普及啓発」の順となっています。

多くの項目で、「福祉の仕事や活動をしている」が「福祉の仕事や活動をしていない」を上回っており、その中で最も差がみられたのは、「住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり」の 14.6 ポイントでした。

また、「福祉の仕事や活動をしていない」が「福祉の仕事や活動をしている」を上回っているものは、「地域での相談体制の充実」が 7.6 ポイント、「地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成」が 1.9 ポイントとなっています。

「福祉の仕事や活動をしていない」：問 16 「いずれの活動もしていない」

「福祉の仕事や活動をしている」：問 16 「いずれの活動もしていない」以外



問 16 「福祉との関わり方」と問 17 付問 3 「地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件」のクロス集計

～「福祉の仕事や活動をしている」人の方が

活動時期や活動場所、知識等の条件を重視している～

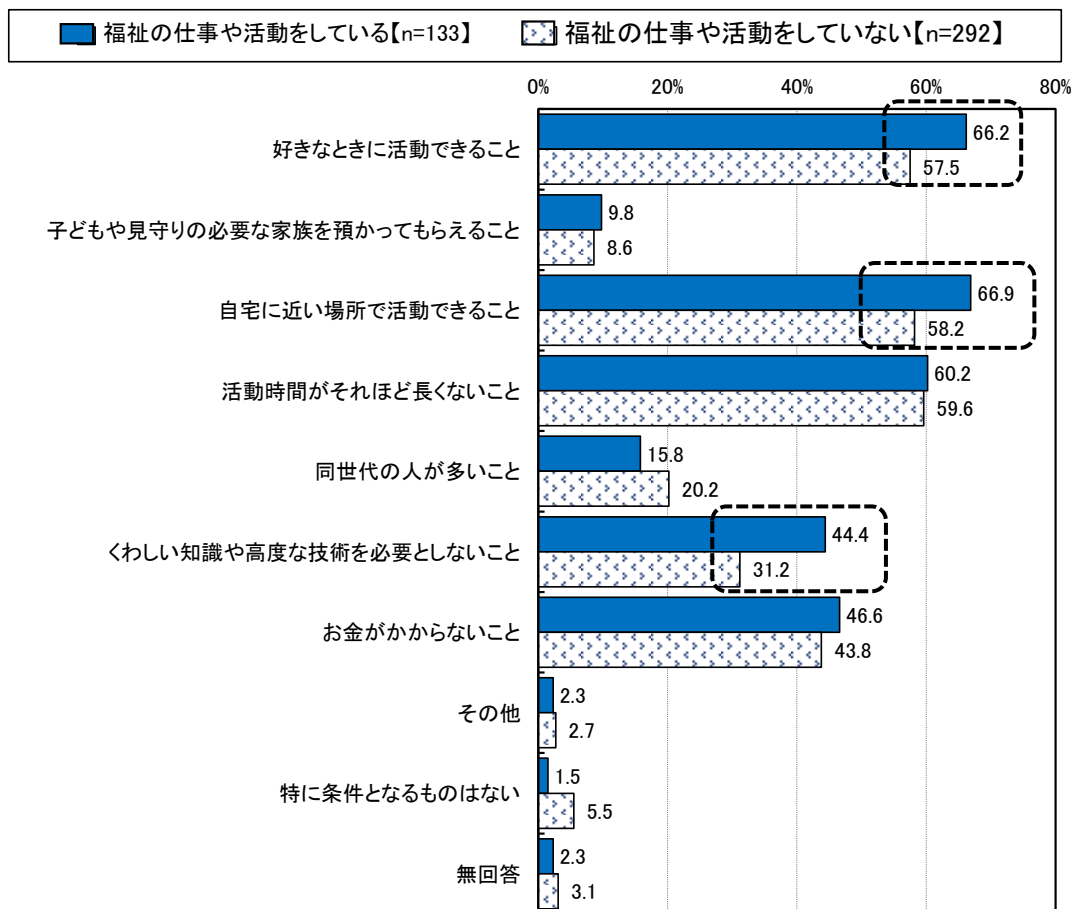
地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件について、福祉との関わり方別でみると、「福祉の仕事や活動をしている」では、「自宅に近い場所で活動できること」が最も多く、「好きなときに活動できること」、「活動時間がそれほど長くないこと」の順となっています。一方の「福祉の仕事や活動をしていない」では、「活動時間がそれほど長くないこと」が最も多く、「自宅に近い場所で活動できること」、「好きなときに活動できること」となっており、順位は異なりますが、上位3項目は同様となっています。

多くの項目で、「福祉の仕事や活動をしている」が「福祉の仕事や活動をしていない」を上回っており、その中で最も差がみられたのは、「くわしい知識や高度な技術を必要としないこと」の13.2ポイントでした。

また、「福祉の仕事や活動をしていない」が「福祉の仕事や活動をしている」を上回っているものは、「同世代の人が多いこと」が4.4ポイント、「特に条件となるものはない」が4ポイントとなっています。

「福祉の仕事や活動をしていない」：問 16 「いずれの活動もしていない」

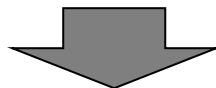
「福祉の仕事や活動をしている」：問 16 「いずれの活動もしていない」以外



(4) 総括

お住まいの地域について（問2～問7）

- ・「自分の地域」と感じる範囲は、「自宅周辺の近隣」から「自治会・町内会の範囲」で6割となっています。
- ・自分の地域の住みやすさは、「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計が6割を超えています。
- ・地域や周辺の環境については、「あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」において「そう思う」と「まあそう思う」の合計が7割以上となっていますが、他の項目では半数以下となっており、「子どもから高齢者まで住民による交流が活発だ」において「そう思わない」、「あまりそう思わない」の合計が最も多くなっています。
- ・近所づきあいは、「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が5割弱となっています。また、平成29年調査との比較では、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」と「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」の割合は減り、「あいさつ程度である」の割合が増えています。
- ・近所づきあいをしていない理由では、「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が約5割となっています。
- ・地域で行われている行事や活動への参加は、「清掃・美化活動」が5割となっています。また、「活動はしていない」も3割います。
- ・地域活動や行事を活発にするために大切なことでは、「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が6割となっています。



＜結果から見える今後の展開＞

近所づきあいについて、新型コロナウイルス感染症がどの程度近所づきあいに影響を及ぼしているのかは、本調査では読み取ることはできませんが、近所づきあいの希薄化を感じられる内容となっています。

住民同士が困ったときに助け合う関係を構築するためには、「自分の地域」の範囲、「自宅周辺の近隣」から「自治会・町内会の範囲」での近所づきあいが欠かせません。地域や周辺の環境について、「あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」の「そう思う」と「まあそう思う」の割合が多いことから、この部分を起点に、近所づきあいの構築、地域で行われている行事や活動への参加が促進されるように環境づくりを進めていく必要があります。

日常生活や福祉の課題について（問8～問15）

- ・親しい人が身近にいると感じるかについて、「とても感じる」と「ある程度感じる」の合計が約6割となっています。
- ・どのようなことに悩みや不安を感じるかは、「健康に関すること」が約6割、「老後の暮らしに関すること」が約5割となっています。
- ・悩みや不安なことの相談先は、「家族・親戚」の割合が8割となっており、次点の「友人・知人」を大きく上回っています。
- ・日常生活を送る上で必要な手助けは、「急病などの緊急時の手助け」が2割、「気軽に行ける自由な居場所づくり」が2割近い値となっています。また、「特にない」が4割となっています。
- ・高齢者や障がいのある人、子育てをしている人が支援を受けるために必要なことは、「様々な相談先の提供」が約4割となっています。
- ・健康や福祉に関する情報で役に立っているものは、「日高市の広報紙・ホームページ」が5割以上となっています。平成29年調査と比較すると、「インターネットからの情報」の割合が大幅に増えています。
- ・「ケアラー」という言葉の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「ある程度は知っている」の合計）5割台前半でした。
- ・「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「ある程度は知っている」の合計）5割台後半でした。



＜結果から見える今後の展開＞

多くの人が健康や老後の暮らしに対する悩みや不安を感じており、相談相手は家族・親戚、友人・知人が上位に挙がっています。

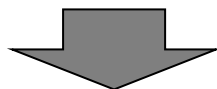
また、高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なことでは、様々な相談先の情報提供、様々な相談ができる総合相談窓口へのニーズが高くなっていることから、包括的な相談支援体制のさらなる充実を図る必要があります。

日常生活において必要な手助けでは、「特にない」が多くなっていますが、今後の高齢化の進行を勘案すると、「通院、買い物などの外出の手伝い」や「見守り・安否確認」に対する要望が高まる可能性があります。

情報の入手では、広報紙・ホームページやテレビ、新聞、書籍といったメディアを通して情報を得ている様子がみられます。また、インターネットから情報を得る割合も増えていることから、情報の入手先の多様化とそれに対応するための取組が課題となってきます。

地域福祉を進めるための取り組みについて（問16～問18）

- ・福祉との関わり方は、「いずれの活動もしていない」が6割近くとなっており、福祉活動をしていない理由では、「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が4割となっています。
- ・福祉活動をする理由では、「持ち回りの当番制となっているから」が4割台後半となっています。
- ・地域で支え合い、助け合うために必要なことは、「住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり」が6割となっています。
- ・手助けできると思う地域での支え合い活動は、「見守り・安否確認」が4割となっています。
- ・地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件は、「自宅に近い場所で活動できること」が6割、「好きなときに活動できること」と「活動時間がそれほど長くないこと」が5割台後半となっています。
- ・身の回りで起こる福祉の課題についてどう思うかは、「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである」については「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。



＜結果から見える今後の展開＞

福祉活動について、活動している人は持ち回りの当番制といった主体的な理由ではないケースが多くなっています。活動している人を増やす視点から、当番が終わった後も引き続き活動に参加したくなる施策や環境の整備が重要となります。

また、活動をしていない理由で最も多かったのが「多忙」でした。地域での支え合い活動をより活発にするために必要な条件では、自宅に近い場所で活動できること、好きなときに活動できること、活動時間がそれほど長くないことが挙げられています。活動体制のなかに、この条件を柔軟に組み入れていく必要があります。

地域での支え合い活動をより活発にしていくためには、支え合い、助け合い活動ができる体制づくりを多くの方が挙げています。支え合い、助け合い活動には人と人との関係構築だけではなく、地域の人たちが参加しやすく、かかる負担を地域住民で分担し合いながら、地域での支え合い、助け合い活動をどのように取り組んでいくべきか、地域とともに検討していく必要があります。